

横須賀市  
博物館報



- 目 次 -

はじめに

博物館事業報告

1 特別展示・企画展示	3
(1) 特別展示	3
(2) 企画展示	6
2 研究発表会	9
3 調査等出張	11
4 ニュース	15
5 アンケート	16

博物館事業概要 令和5年度(2023年4月～2024年3月)

6 展示教育普及事業	
(1) 主催事業①(展示)	22
(2) 主催事業②(学習会)	25
(3) 主催事業③(イベント等その他)	29
(4) 主催事業④(出版・制作)	33
(5) 共催・協力事業	37
(6) 学校教育等指導・対応	38
(7) 学校教育以外の指導・対応	39
(8) 報道発表・取材等協力	41
7 収集調査研究事業	
(1) 調査・研究	43
(2) 研究発表・執筆	43
(3) 学術研究団体・会議等協力	44
8 分類整理保存事業	
(1) 資料の寄贈・借用	45
(2) 登録資料	45
(3) 資料の利用	45
(4) 資料の保守・保存環境保全	45
9 管理事業	
(1) 施設利用	47
(2) 開館園日数・入館園者数	49
(3) 人 事	49
(4) 決 算	49
(5) 営繕工事	49
(6) 消防訓練・避難訓練	49
(7) ホームページ・メールマガジン・SNS	50
(8) 講習会等の参加	50
職員名簿(令和5年度)・表紙写真解説	裏表紙裏

## はじめに

令和5年(2023)度は、4月1日から「博物館法の一部を改正する法律」(以下、改正博物館法)が施行されるなど博物館業界にとって変化が求められる年となりました。博物館法の大幅な改正は、昭和26年(1951)に同法が公布されてから実に約70年ぶりのことです。改正博物館法では、社会教育法に加えて文化芸術基本法の精神に基づくこと、博物館登録制度の見直し、博物館事業への博物館資料のデジタル・アーカイブ化の追加、地域の多様な主体との連携・協力の推進を努力義務とすること等がうたわれています。他方、改正博物館法に対しては、各社新聞報道や書籍の出版等を通じて、期待とともに懸念の声も寄せられました。例えば、博物館に求められる機能が多様化する一方で、人材や予算の確保は適切になされるのか、また、博物館が営利や話題性を優先した施設になり、博物館の根幹である資料の収集・保存、調査研究、教育普及に関わる業務に影響を与えるのではないかなどです。これらの懸念に関することは、その一部が改正博物館法に対する附帯決議に盛り込まれています。社会全体に目を向けると、5月には「新型コロナウイルス」の法律上の位置づけが「5類感染症」、つまり季節性インフルエンザと同様の扱いへと移行するなど、世間が所謂「コロナ禍」以前の日常を取り戻した年となりました。

こうした世相の令和5年度ですが、当館では昨年度から引き続き、企画展示「牧野富太郎がみつめた植物—植物標本が語るもの—」を開催し、日本を代表する植物学者である牧野富太郎博士の植物標本などを展示しました。続いて開催した特別展示「みどりの不思議—多様な植物の世界—」では、首都圏にありながら海と「みどり」に囲まれた自然豊かな三浦半島の「植物」を展示し、植物の魅力や機能について紹介しました。連続で開催された植物学の展示には、いずれも外部講師による講演会が企画され、当館学芸員による展示解説等の行事とともに好評を博しました。また、企画展示「横須賀の職人道具」では、本市有形民俗文化財である「横須賀の職人道具」や浦賀ドックで使用されていた工具等を展示しました。展示に関連して実施された「鉋がけ実演会」では、講師として2名の地元職人の先生をお招きし、実演と参加者による体験を行いました。徐々に道具の使い方に馴れ、鉋で得意気に木材を削る子どもたちの姿が印象的な行事となりました。

当館では、引き続き、「資料を過去から現在、未来へ橋渡しをすることを社会から託された責任と自覚し、収集・保存に取り組む」(財団法人日本博物館協会「博物館関係者の行動規範」)とともに、三浦半島の自然と歴史をわかりやすく伝えられるよう一層努めてまいります。皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

横須賀市自然・人文博物館

《ポスター》

身近な植物から世界の植物まで紹介 植物の不思議を探ってみよう

「同時開催」  
横須賀・神奈川の  
植物調査史  
牧野富太郎 博士  
の足跡をたどる

多様な植物の世界  
Plant Diversity  
**みどりの不思議**

2023 7月22日(土)・11月26日(日) 横須賀市自然・人文博物館  
3階特別展示室  
開館時間 9:00～17:00・入場無料/月曜休館(月曜が祝日・振替休日の場合は翌火曜日)

お問い合わせ 横須賀市自然・人文博物館 | 横須賀市深田台95 | ☎ 046-824-3688  
協力 国立科学博物館、東京理科大学 植物標本館、神奈川県立自然史博物館、神奈川県立総合研究センター 横須賀市自然・人文博物館ウェブサイト >>>

特別展示

「みどりの不思議—多様な植物の世界—」

企画展示  
横須賀市自然・人文博物館

関連企画 開催決定!  
■5/3(水・祝) 展示解説  
「植物標本が語るもの」  
■5/20(土) 特別講演  
「牧野富太郎博士の植物標本と  
現在の植物研究の魅力」  
■6/17・24(土) 連続講座  
「はじめての植物標本づくり」  
※詳しくは展覧会をご覧ください。

**牧野富太郎が  
みつめた植物**  
—植物標本が語るもの—

2023  
3.18日(土)～6.18日(日)

【開館時間】9:00～17:00  
【休館日】月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)  
【会場】横須賀市自然・人文博物館/本館3階  
【お問合せ】横須賀市自然・人文博物館  
横須賀市深田台95 TEL.046-824-3688

協力  
東京理科大学 牧野標本館  
国立科学博物館  
神奈川県立自然史博物館  
神奈川県立総合研究センター

入場無料

企画展示①

「牧野富太郎がみつめた植物—植物標本が語るもの—」

横須賀市自然・人文博物館  
企画展示

横須賀の  
**職人道具**

12月23日(土) 9:00～17:00  
12月24日(日) 9:00～17:00  
12月25日(月) 9:00～17:00  
12月26日(火) 9:00～17:00  
12月27日(水) 9:00～17:00  
12月28日(木) 9:00～17:00  
12月29日(金) 9:00～17:00  
12月30日(土) 9:00～17:00  
12月31日(日) 9:00～17:00

2023 12.23 ▶ 2024 5.6 9:00～17:00  
横須賀市自然・人文博物館 3階特別展示室 入場無料

お問い合わせ 横須賀市自然・人文博物館 | 横須賀市深田台95 | ☎ 046-824-3688  
協力 横須賀市自然・人文博物館、横須賀市文化会館、横須賀市立総合研究センター 横須賀市自然・人文博物館ウェブサイト >>>

企画展示②

「横須賀の職人道具」

第7回  
みんなの  
**理科**  
フェスティバル

2024 1/20日(土)～21日(日) 9:30～17:00

横須賀市自然・人文博物館  
横須賀市文化会館

みんなの理科フェスティバル  
研究や活動の成果発表!  
文化会館 1/20 10:40～12:30  
文化会館、博物館 1/21 13:30～16:00

みんなの理科フェスティバル  
展示や体験の機会を多く提供!  
文化会館 1/20 10:40～12:30  
文化会館、博物館 1/21 13:30～16:00

みんなの理科フェスティバル  
動物の足音や動きなど  
博物館 1/21 9:30～17:00

お問い合わせ 横須賀市自然・人文博物館 | 横須賀市深田台95 | TEL.046-824-3688  
協力 横須賀市文化会館、横須賀市立総合研究センター、横須賀市立自然史博物館、横須賀市立総合研究センター 横須賀市自然・人文博物館ウェブサイト >>>

みんなの理科フェスティバル

## 博物館事業報告

### 1 特別展示・企画展示

#### (1) 特別展示

#### 「みどりの不思議 —多様な植物の世界—」

三浦半島は首都圏にありながら、海と「みどり」に囲まれており、自然と人の暮らしとの距離が非常に近い点が魅力といえる。「みどり」ある環境は、様々な生物の生息・生育・繁殖の場となるほか、人々の憩いや癒しの場となっている。本展示では、この「みどり」を構成する「植物」について、身近なもの（野生植物や暮らしに関わる栽培化された植物）から世界のものまでを扱い、植物のそのものの魅力と機能を伝え、人と自然の在り方を見つめなおす契機になることを目的とした展示を行った。 担当：山本



導入

#### 開催場所

本館特別展示室, ラウンジ

#### 開催期間

令和5年7月22日（土）から令和5年11月26日（日）まで [112日間]

#### 見学者数

24,664人

#### 関連事業

・展示解説 7月22日（土）・9月23日（土）



展示解説



入口ゲート

#### ・講演会

8月11日（金）「みどりの不思議 植物研究の楽しさ」

会場：本館 講座室

講師：山本 薫（当館学芸員）

参加者数：25人

9月30日（土）「野生ランと食虫植物」

会場：本館 講座室

講師：早川宗志（ふじのくに地球環境史ミュージアム）

参加者数：35人

協力機関

国立科学博物館，東京都立大学 牧野標本館，神奈川県立生命の星・地球博物館，神奈川県植物誌調査会

展示構成

1 植物とは何か？ 植物の機能，光合成



植物とは何か？

2 身近な植物の世界

三浦半島のどこにどんな植物が生育しているか  
わたしたちのくらしと植物 植物の栽培化 植物の利用



身近な植物の世界①



身近な植物の世界②



身近な植物の世界③



身近な植物の世界④

3 植物の魅力 世界に目を向けてみよう！  
地球にはどんな植物が生育しているのか - ○○すぎる  
植物たち



植物の魅力①



植物の魅力②

4 多様性を育む植物 植物と動物の関係 送粉様式と  
種子散布様式 (体験展示)



多様性を育む植物

5 横須賀・神奈川の植物調査誌 ペリーやサヴァティエ,  
牧野富太郎などゆかりの植物

## (2) 企画展示①

## 「牧野富太郎が見つめた植物—植物標本が語るもの—」

日本を代表する植物学者・牧野富太郎は、「植物学の父」といわれ、多くの植物を記載してきた。横須賀をはじめ三浦半島内でも多くの新種を発見し、命名している。本展示では、東京都立大学牧野標本館協力のもと、牧野富太郎の標本を紹介するとともに植物標本の魅力や価値にせまるものとした。

担当：山本

## 開催場所

本館特別展示室

## 開催期間

令和4年度から継続 令和5年6月18日（日）まで  
[80日間]

## 見学者数

18,489人（令和5年度開催分）

## 関連事業

展示解説 5月3日（水）・6月11日（日）

## 企画展示関連講演会

「牧野博士の植物標本と現在の植物研究の魅力」

日時：5月20日（土）14時から16時まで

会場：文化会館 中ホール

講師：村上哲明（牧野標本館館長）

参加者数：200人



講演会

## (2) 企画展示②

## 「横須賀の職人道具」

平成28年に横須賀市の有形民俗文化財に指定された「横須賀の職人道具」を中心に、横須賀市の成り立ちや特徴を表す職人道具を展示した。

横須賀市は、佐島のような村、江戸時代から栄えた浦賀のような町、横須賀製鉄所以降の近代化にともなう都市、さまざまな顔があり、それを彩ったのが職人・職工であった。それら職人・職工を村の職人、町の職人、都市の職人に分けて紹介した。具体的には、大工や石工等の村の職人、畳屋や桶屋など職人の専門化が進んだ町の職人、パン屋や洋服屋などの都市の職人や横須賀製鉄所以降に現れた職工を取り上げ、実際に使われた道具を展示し、横須賀の成り立ちや地域の特徴を伝えた。あわせて、身近な職人として博物館直近の上町商店街の10店舗を紹介した。

担当：瀬川



入口



村の職人

**開催場所**

本館特別展示室

**開催期間**

令和5年12月23日(土)～令和6年3月31日(日)

**見学者数**

17,860人

**関連事業**

展示解説 12月23日(土)  
6年3月30日(土)  
※「鉋がけ実演会」含む

**主な展示資料**

大工道具 石工道具 船大工道具 指物師の道具  
桶屋の道具 左官道具 曲物師の道具 下駄屋の道具  
菓子職人の道具 髪結の道具 美容師の道具 理容師の  
道具 仕立屋の道具 浦賀ドック関係資料



指物師の修業



写真の技能と技術



理容師・美容師



浦賀ドックの職工

### 協力

上町商店街連合会

浦賀とドックの歴史を愛する会

安室 知（神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科教授）

### 鉋がけ実演指導

須藤 宏（須藤オルガン工房）

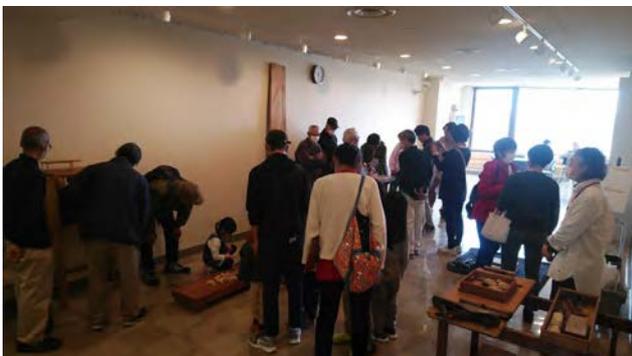
神永 匡崇（木工藝 神永）



実演指導①



実演指導②



実演指導③

## 2 研究発表会

### (1) みんなの理科フェスティバル

#### 「第7回 みんなの理科フェスティバル」

「こどもからおとなまで、みんなが『理科』でつながる」をテーマに、様々な出展者による研究発表展示やワークショップ、講演会等を開催した。横須賀市文化会館共催。

担当：内船・柴田・山本・萩原

#### 開催場所

本館講座室・1階ロビー、横須賀市文化会館第一・第二市民ギャラリー・中ホール

#### 開催期間

6年1月20日、21日

#### 来場者数

3,239人

#### 開催内容

##### ・ギャラリー出展および発表会

開催期間中、文化会館のギャラリーに子どもから大人まで様々な「理科」の作品を集約展示した。

##### ①理科研究

市内小学校「よこすか子ども科学賞」入賞作品および応募作品36件のほか、小中学生2件、県立高校生11件、一般1件、当博物館2件のポスターもしくはレポート

##### ②理科工作

市内小学校の「よこすか子ども発明展」入賞作品9件

##### ③理科活動

県立高校2件、横須賀市役所2件、当博物館1件のポスターもしくはパネル・作品

##### ④ワークショップ

県立高校1件（3校合同出展）、大学研究室1件、大学サークル1件、企業2件、国立研究開発法人1件、市内活動団体2件

##### ⑤表彰式および発表会

表彰式（主催：横須賀市教育委員会、主管：横須賀市小学校理科教育研究会）は「よこすか子ども科学賞」および「よこすか子ども発明展」入賞者を表彰するものであり、1月20日に中ホールで開催し、第一市民ギャラリー前でも中継した。発表会（みんなの発表会）は出展者が第一市民ギャラリーに一堂に会して他の出展者や来場者と交流するものであり、1月20日と21日に各1回行い、来場者の投票によって「イイね！理科大賞」計8件を選出した。

##### ・関連企画

##### ①関連講演会（自然環境講演会）

「発見！三浦半島の生物と豊かな自然～“どんねんないきもの”から身近な自然まで～」。本館講座室。6年1月20日。横須賀市・同市教育委員会共催（担当：建設部自然環境・河川課）



発表会①（個別発表をする小学生）



発表会②（全体発表をする学芸員）

## ②トピックス展示1

「今泉先生の見た、いきものたち」。本館1階ホール。6年1月13日～1月28日。関連企画①とともに、理科フェスティバル実施時期に合わせて開催した。

## ③トピックス展示2

「牧野博士の植物標本と関連資料」。本館2階渡り廊下。6年1月13日～1月28日。理科フェスティバル実施時期に合わせて開催した。



表彰式（会場受付での生中継の様子）

## ④ワークショップ

「身近な植物の押し花作品づくり」。本館講堂。6年1月20日・21日。文化会館と博物館の2会場を往来するための企画として、次項のチェックポイントを兼ねて開催した。参加者数：462人

## ⑤スタンプラリー

文化会館3階の会場で配布したマップにスタンプラリーの機能を持たせ、前項のワークショップ会場にて押印してもらおう工夫をもたせた。



関連講演会（自然環境講演会）



小学生の作品（横須賀こども発明展の作品展示）



トピックス展示「今泉先生の見た、いきものたち」



ワークショップ（市内県立3高校による合同ワークショップ）

### 3 調査等出張

#### (1) 調査出張

#### 「伊豆半島および伊豆諸島の昆虫調査」

本事業は、三浦半島の地域間比較昆虫相調査の一環として行っている伊豆諸島地域調査において未調査であった同諸島の東京都利島・神津島に、伊豆半島南端部の静岡県下田市を加えて行った。主な行程は、下田市（6月18日～20日）、利島（6月20日～21日）、神津島（6月21日～24日）であり、下田市では爪木崎自然公園および下田公園、利島では島内宮塚山を含む島内各所、神津島では天上山のほか長浜海岸および多幸湾などの海岸部で、それぞれ身近にみられる昆虫をはじめとした動植物を記録した。神津島では、自然や歴史文化についての情報を得るため、同島郷土資料館を見学した。

写真には横須賀・三浦半島との対比において特筆すべき昆虫を挙げる。チクシトゲアリは神奈川県では西部沿岸部にのみ分布する種である。ハチジョウルリボシカミキリは近隣では伊豆諸島にのみ分布するものの、食草は三浦半島にも分布する。フタガタハラブトハナアブは国内に広く分布するものの山地に偏り、神奈川県東部には記録がない。ツゲノメイガは国内に広く分布し本市を含む三浦半島でも記録されているが、神津島天上山では非常に多数の個体が登山者の接近を受け乱舞していた。

(担当：内航)



写真 1. チクシトゲアリ (20230619 下田公園)



写真 2. ハチジョウルリボシカミキリ (20230620 利島)



写真 3. フタガタハラブトハナアブ♂ (20230620 利島)



写真 4. ツゲノメイガ♂ (20230621 神津島)

## (2) 視察出張

### 「大阪を中心とした関西地域の博物館等視察」

博物館のリニューアルに向けた検討を具体的に進めるための現地視察・ヒアリングの機会として、大阪府を中心に1府2県にわたる視察を行った。主な行程は次のとおりである。パナソニックミュージアム・大阪歴史博物館・大阪城天守閣（6年2月5日）、国立民族学博物館、伊丹市立伊丹ミュージアム（同6日）、大阪市立自然史博物館、大阪市立住まいのミュージアム（同7日）、徳島県立博物館、レキシルトくしま（同8日）、明石市立文化博物館、明石市立天文科学館、神戸海洋博物館、竹中大工道具館（同9日）。なお、6年2月5日～7日の行程の一部は北山と同行した。視察の目的は二つで、一つは比較的新しくリニューアルを行った施設の職員・学芸員から直接話を聞きながら展示を見ること、もう一つは自然系だけでなく、総合的な展示や様々なジャンルの特徴的な資料の展示等活用の実例を増やすこと、である。

視察・ヒアリングに際してご対応いただいた施設の職員・学芸員の方々には、この場をお借りしてお礼申し上げます。  
(担当：内航)

### 「全国博物館大会（千葉）への参加」

#### 第71回全国博物館大会

期間：11月15日（水）から17日（金）まで

会場：千葉市文化センター アートホール（千葉県千葉市）

大会のテーマ：博物館法改正元年—つながり、交差する—（参加：北山・山本）

#### 1 第71回全国博物館大会決議（概要）

第71回全国博物館大会は、「博物館法改正元年—つながり、交差する—」を全体テーマとして、千葉県千葉市において開催された。

今大会は、全国から約490名が参加し、改正博物館法施行後の博物館運営の在り方について活発な議論が行われた。

世界的に博物館の社会的役割が大きく変化・多様化する状況のなかで、我が国においても、本年4月に施行された改正博物館法のもとで今後の博物館の在り方が問われている。博物館は、歴史文化・自然科学等多岐にわたる文化遺産の保存継承・活用を目的に、社会教育はもとより地域の文化振興を担う中核施設として機能しており、今大会の議論を通して、あらゆる人々の健全でかつ文化的生活を支えるために不可欠な社会基盤であることが確認された。

博物館が文化的社会基盤の役割を果たすためには、それぞれの博物館のみならず設置者が、その設置目的を再確認し、充実した事業の展開に必要な財源の確保や人材の拡充・育成等、早急に着手すべき課題の解決に一層の努力をする必要がある。そのためには、自助努力と公的

支援それぞれの必要性を認識し、博物館ならびに関係諸機関が一体となって、博物館のより良い運営に必要な組織・制度の改革や多様な支援体制の整備を進め、博物館全体の振興に取組み、その存在意義を社会に広く訴えることが重要であることも共有された。

ここに、第71回全国博物館大会の名において、博物館がより良い未来の創造に寄与することを願い、下記のとおり決議する。

- ① 改正博物館法制度による博物館の基盤整備
- ② 連携・情報基盤としてのデジタル化の促進
- ③ 国際化の促進による博物館機能の充実
- ④ 防災・減災・防犯体制の充実

#### 2 基調講演の内容と感想

##### (1) 基調講演「つながりをつくる博物館—多世代共創とウェルビーイング」

博物館は、身体的・心理的に安全でウェルビーイングの場であり、ウェルビーイングは、社会の中での関わり合いの中で作られる。また、つながり（「モノと場」「時間と空間」）がマッチするとリッチコンテンツになる。さらに当事者性が重要となり、ミュージアム体験の本質に

は、人とモノとの間に起こる創造的なコミュニケーションがある。

また、博物館の運営において、まずはミッション・ビジョンを作る必要があり、ミッション・ビジョンは都度、更新する必要がある。

これからの博物館を考える中で博物館独自の使命の重要性を学ぶことができた。そして、博物館独自の使命が明確であると、人もお金も集まると事例紹介していただいたことに対し、とても参考になった。

## (2) 全国博物館フォーラム

これからの博物館経営の視点で基本的運営方針と運営状況の点検・強化の必要性を説明された。最も重要なことは、館独自の使命・目的をつくることであると熱弁され、何を目指し、どういう方向に向かっていくか、社会に何をもたらすかを訴える必要があることに感銘を受けた。

また、博物館が図書館と連携できたら面白いことができるといった話や電磁的記録の公開についても学ぶことができた。

当館においては、まずは資料がどこにあるか（インベントリー）をデータ整理し、その後、収蔵品についての

情報を整理（カタログ）といったデジタル化の手順が必要ではないかと感じた。

## 3 分科会

各博物館での事例紹介が行われた。

分科会の総括では、「博物館」が「博物館」にならないようにしないといけないと語られ、法改正により、我々は今、その狭間に立たされていると言われていた。

地域の博物館において、各館がどこを目指していくかを考える必要があり、博物館と観光施設のボーダー（境目）がこれからどうなるか、DMOと博物館がどう連携するか、今後の議論になると説明されていた。

令和5年度は、指定管理制度が導入され20年となり、博物館の目的や観光周遊・自然・食・芸術・芸能・風習・風俗など、地域にある観光資源をどう考えるか、また、学芸員はどう活動するか、議論が深まると説明されていた。

資金・財源の確保においても多様な方法があり、クラウドファンディングなど、これからも増えていくのではないかと説明されていた。

当館のリニューアルにおいて、参考になる話が日々あり、非常に感銘を受けた全国博物館大会であった。

(担当：北山)

## 博物館視察

横須賀市自然・人文博物館は、開館から50年以上が経過しており、リニューアルに向けた検討を進めている。

博物館に求められる機能・役割などが多様化されている中で、当館のリニューアルを進めるにあたり、まずは博物館の現状や他館の状況を知らなくてはと思い、県内・県外の博物館を視察した。

令和5年度に約70の博物館等を視察した。視察の中で応対してくれた方に対し、この場を借りて御礼を申し上げますとともに、今後進める当館のリニューアルが、他館においても役立つヒントになれば幸いと思い、報告させていただく。

### 1 視察した博物館等（順不同、略称）

1	東京国立博物館	2	平塚市博物館
3	あつぎ郷土資料館	4	相模原市博物館
5	JAXA 相模原キャンパス	6	箱根駅伝ミュージアム
7	箱根関所	8	箱根ビジターセンター
9	箱根ジオミュージアム	10	箱根郷土資料館
11	鈴鹿かまぼこ博物館	12	神奈川県立歴史博物館
13	国立科学博物館	14	世界のカバン博物館
15	貨幣博物館	16	観音崎自然博物館
17	ペリー記念館	18	横浜みなと博物館
19	茅ヶ崎市博物館	20	神奈川県立生命の星地球博物館
21	富士山レーダードーム館	22	ふじさんミュージアム
23	山梨県立富士山世界遺産センター	24	なるさわ富士山博物館

25	ほっき貝資料館	26	ウトナイ湖野生鳥獣保護センター
27	国立アイヌ民族博物館	28	洞爺湖ビジターセンター
29	洞爺湖町火山科学館	30	洞爺湖サミット記念館
31	北海道開拓の村	32	北海道博物館
33	サッポロビール博物館	34	ニッカミュージアム
35	小樽市総合博物館運河館	36	小樽美術館
37	手宮洞窟保存館	38	小樽市総合博物館
39	札幌市図書・情報館	40	札幌市時計台
41	北海道大学総合博物館	42	tower eleven museum
43	さっぽろ雪まつり資料館	44	クラーク記念館
45	札幌オリンピック記念館	46	横須賀美術館
47	早稲田大学歴史館	48	早稲田大学演劇博物館
49	国立歴史民俗博物館	50	セーレンプラネット
51	福井市郷土歴史博物館	52	坂井市龍翔博物館
53	福井県立恐竜博物館	54	21世紀美術館
55	石川県文化財修復工房	56	石川県立美術館
57	国立工芸館	58	石川県立歴史博物館
59	石川県立図書館	60	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館
61	敦賀市知育・啓発施設 ちえなみき	62	千葉県立中央博物館
63	千葉市美術館	64	おもちゃと人形自動車博物館
65	大阪歴史博物館	66	大阪城天守閣
67	国立民族学博物館	68	伊丹ミュージアム
69	大阪市立自然史博物館	70	大阪くらしの今昔館
71	京都国立博物館	72	京都文化博物館
73	京都鉄道博物館	74	ふじのくに自然史ミュージアム
75	登呂遺跡博物館	76	静岡市歴史博物館

## 2 令和5年度 博物館視察を通じて

視察を通じて、まずは「博物館側の思い」がとても大切だと感じた。そして、当館のリニューアルでは、どこを目指すべきか、何を伝えるべきか、本市において博物館を運営する意義は何か、現代において博物館に求められていることは何か、などさまざまなことを考えさせられた。

博物館に対し、「敷居が高い、行くきっかけがない、存在を知らない」といった声をよく耳にする。しかし、博物館と関りを持っている人からは、「知識が広がった、新たな発見があって楽しかった、学びを深めることができた」など自己研鑽や子育て・教育に役立つといった肯定的な意見がある。

これから行う博物館リニューアル事業において、まずは当館が目指すべきこと、そして当館がどうあるべきか、といったビジョンを明確にする必要があると感じている。

伝える手法や見せる手法は、千差万別たくさんあるが、展示1点1点において、それを展示する理由やそこから感じ取れること、学べることなど、「思い」を込めるこ

とができれば、魅力的な博物館を作り上げることができると確信している。

また、当館では附属施設である「馬堀自然教育園・天神島臨海自然教育園・ヴェルニー記念館」を運営しているため、本館と附属施設との関係も一緒に考えたい。

博物館法が改正され、博物館は、社会教育施設として、資料の収集保管・調査研究・展示教育といった基本的な役割のほかに、デジタル技術等を活用した新しい鑑賞・体験モデルの構築やまちづくり・国際交流、観光・産業、福祉等の関連機関との連携、文化観光拠点施設、地域文化財の計画的な保存・活用といった博物館に求められる役割・機能の多様化と高度化されている。

地域博物館として、どうあるべきか、そして、それをどう実現していくか、突き詰める必要があると思っている。

博物館は、未来へつながる多様な扉とも言われている。当館の存在が人々の生活を豊かにし、地域や社会へより良い影響を与えられるように職員とともに進んでいきたい。

(担当：北山)

#### 4 ニュース

##### ○馬堀自然教育園の水路水揚水ポンプの交換

馬堀自然教育園の水路と下の池の水を循環させるための揚水ポンプが老朽化したため、6年3月22日にポンプの交換工事を行った。これに先駆け、10月31日には学芸員による下の池の取水ピット内の浚渫作業を行い、土嚢袋7袋分の泥を除去した。(担当：萩原)

##### ○天神島臨海自然教育園の南側フェンスの修理

6年2月13日に、老朽化が著しかった天神島臨海自然教育園の南側のフェンス約20mの内、約10mが強風と波浪によって倒壊したため、6年3月27日に業者による補修工事を行った。(担当：亀井・萩原)



天神島フェンス倒壊



フェンス修繕

##### ○屋外看板修繕および新設

6年3月31日、天神島臨海自然教育園、馬堀自然教育園、ヴェルニー記念館の屋外看板の修繕および新設を行った。(担当：北山・山本・菊地)



天神島臨海自然教育園 屋外看板①



天神島臨海自然教育園 屋外看板②



天神島臨海自然教育園 屋外看板③



馬堀自然教育園 屋外看板①



馬堀自然教育園 屋外看板②



ヴェルニー記念館 解説板

## 5 アンケート

本館と付属施設の来館者の満足度を調査し、展示や運営の参考とするためアンケート調査を実施した。

担当：柴田

### 調査時期

4月1日～6年3月31日

### 調査方法

次の場所にアンケート用紙と回収箱を設置した。

本館：2階展示室、1階ホール

馬堀自然教育園：学習棟入口

天神島臨海自然教育園：ビジターセンター1階

ヴェルニー記念館：事務室前

### 回答数

本館：295件

馬堀自然教育園：23件

天神島臨海自然教育園：162件

ヴェルニー記念館：122件

### 集計結果

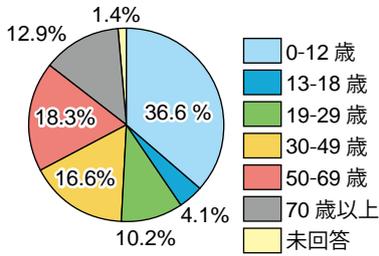
自由記述を除く集計結果を17～20ページに示す。

[ 本館のアンケート集計結果 回答数 295 件 ]

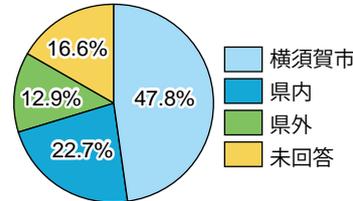
1. お客様について教えてください。

2. 満足度について 5 点満点でお答えください。

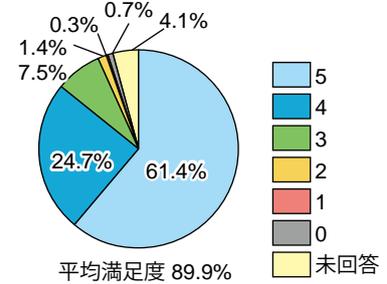
1-1. 年齢



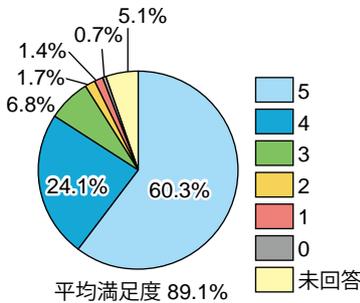
1-2. お住まい



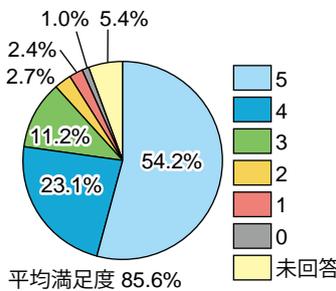
2-1. 全体の満足度



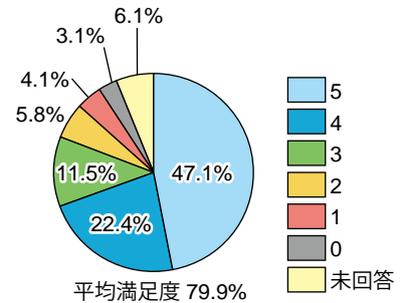
2-2. 展示物の満足度



2-3. 展示パネルや展示構成の満足度

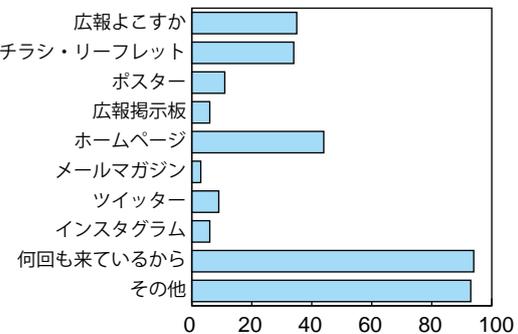
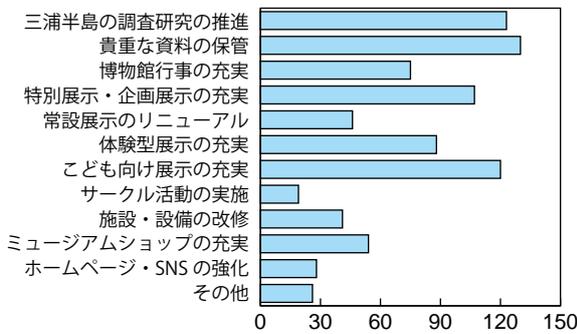


2-4. 施設・設備の満足度



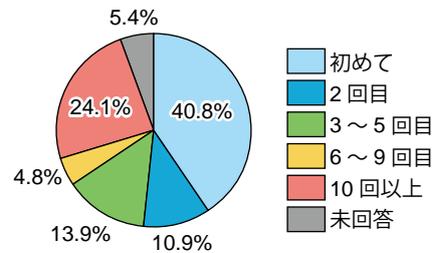
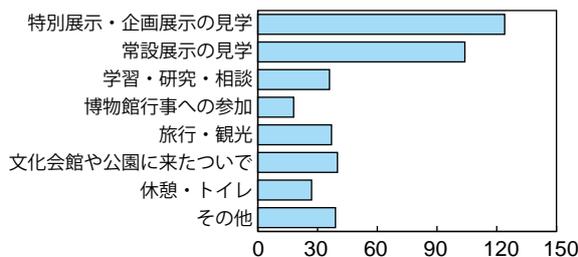
3. この博物館に期待することを教えてください。(いくつかでも)

4. 何を見て博物館に来ましたか。(いくつかでも)



5. どのような目的で来館されましたか。(いくつかでも)

6. この博物館に来たのは何回目ですか。



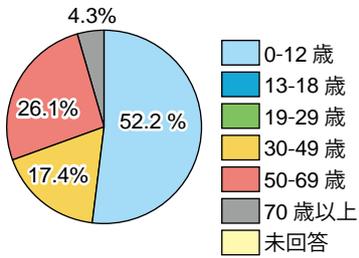
※ 平均満足度は、「5」を 100%、「4」を 80%、「3」を 60%、「2」を 40%、「1」を 20%、「0」を 0%として平均したもの。馬堀自然教育園、天神島臨海自然教育園、ヴェルニー記念館の平均満足度の計算も同様。

[馬堀自然教育園のアンケート集計結果 回答数 23件]

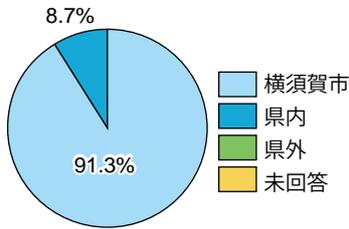
1. お客様について教えてください。

2. 満足度について5点満点でお答えください。

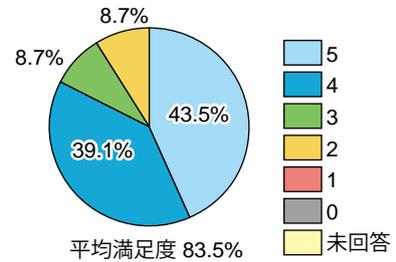
1-1. 年齢



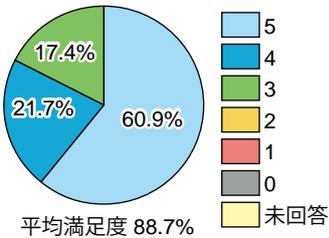
1-2. お住まい



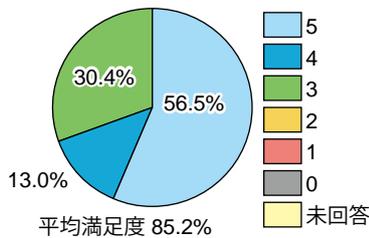
2-1. 全体の満足度



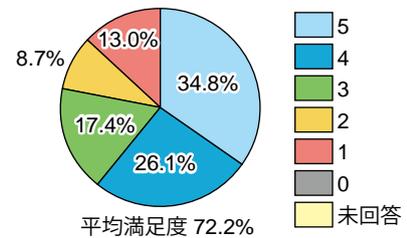
2-2. 教育園の自然の満足度



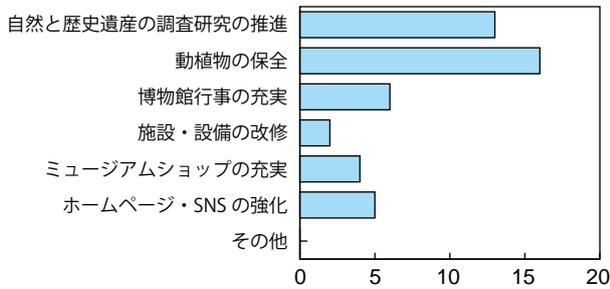
2-3. 学習棟の展示パネルや展示構成の満足度



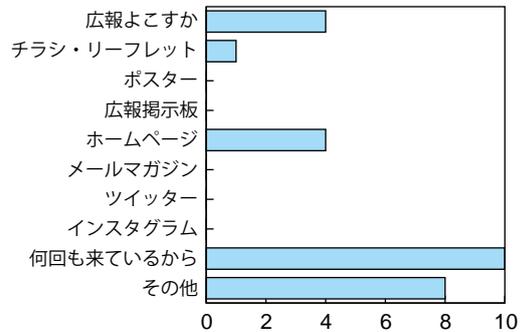
2-4. 学習棟の施設・設備の満足度



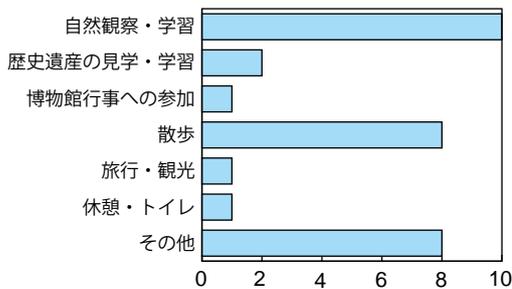
3. 馬堀自然教育園に期待することを教えてください。(いくつでも)



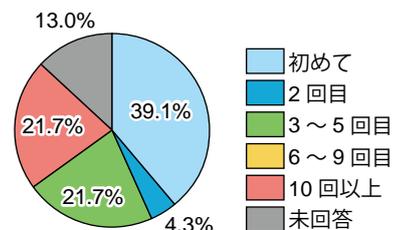
4. 何を見て馬堀自然教育園に来ましたか。(いくつでも)



5. どのような目的で来園されましたか。(いくつでも)



6. 馬堀自然教育園に来たのは何回目ですか。

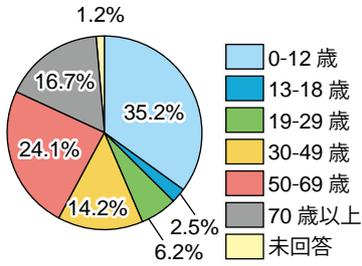


[ 天神島臨海自然教育園のアンケート集計結果 回答数 162 件 ]

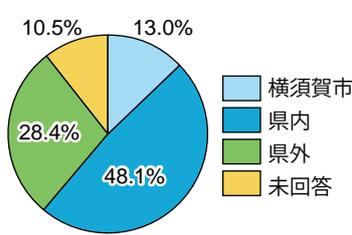
1. お客様について教えてください。

2. 満足度について5点満点でお答えください。

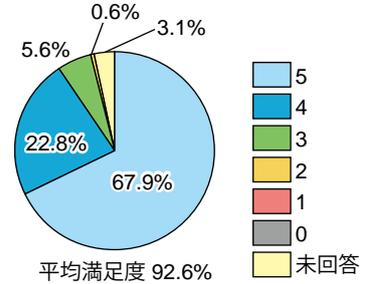
1-1. 年齢



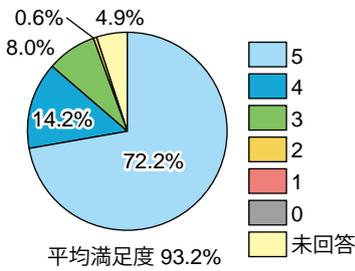
1-2. お住まい



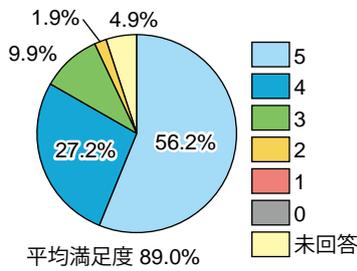
2-1. 全体の満足度



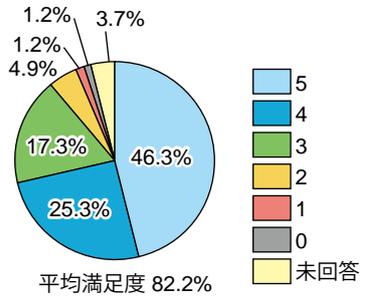
2-2. 教育園の自然の満足度



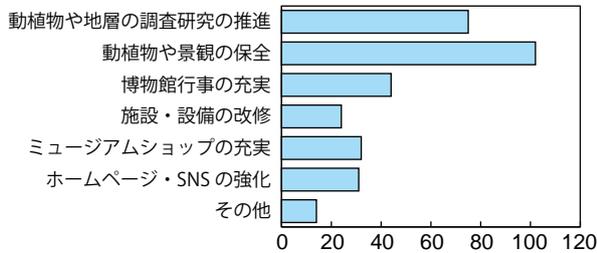
2-3. ビジターセンターの展示構成の満足度



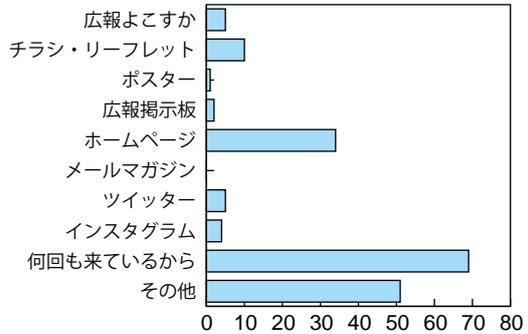
2-4. ビジターセンターの施設・設備の満足度



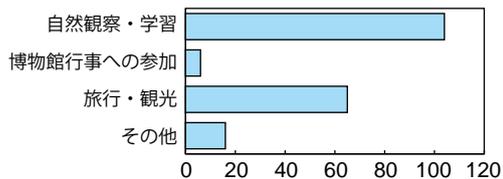
3. 天神島臨海自然教育園に期待することを教えてください。(いくつか)



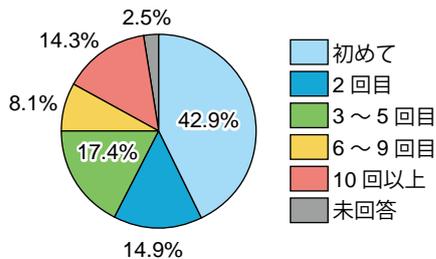
4. 何をみて博物館に来ましたか。(いくつか)



5. どのような目的で来館されましたか。(いくつか)



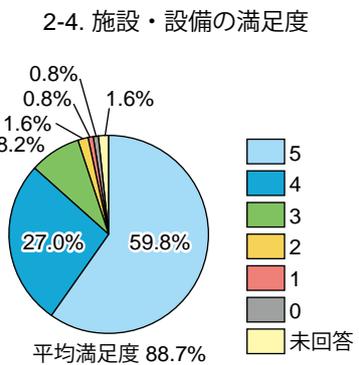
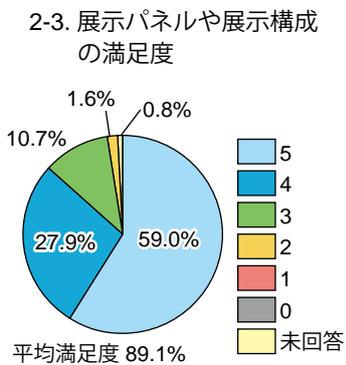
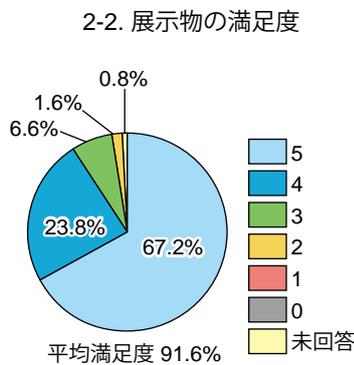
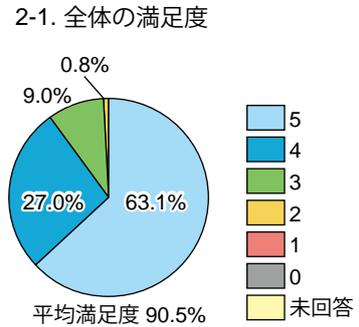
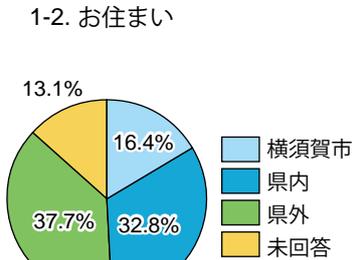
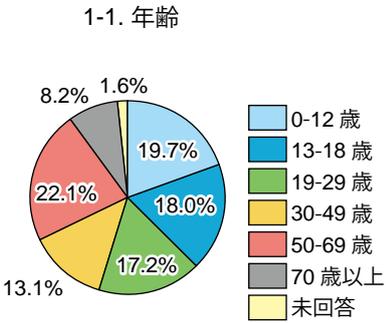
6. 天神島臨海自然教育園に来たのは何回目ですか。



[ヴェルニー記念館のアンケート集計結果 回答数 122 件]

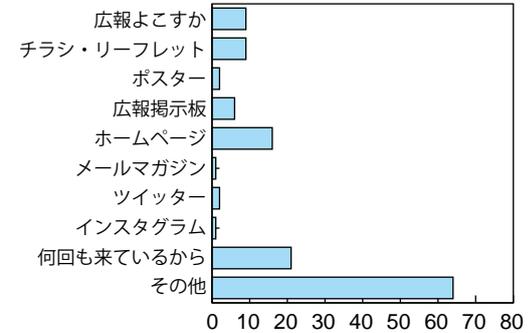
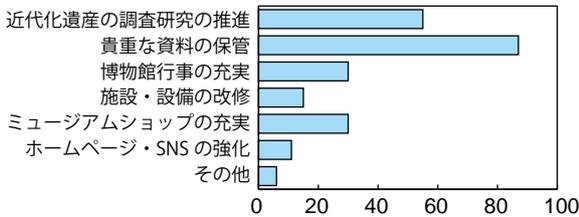
1. お客様について教えてください。

2. 満足度について5点満点でお答えください。



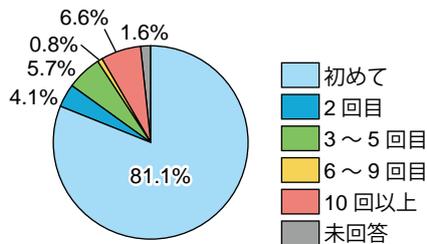
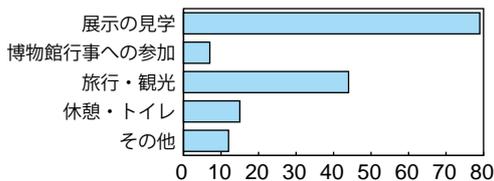
3. ヴェルニー記念館に期待することを教えてください。(いくつでも)

4. 何をみてヴェルニー記念館に来ましたか。(いくつでも)



5. どのような目的で来館されましたか。(いくつでも)

6. ヴェルニー記念館に来たのは何回目ですか。



《チラシ》

身近な植物から世界の植物まで紹介 植物の不思議を探ってみよう

「新刊既刊」  
横須賀・神奈川の  
植物調査史  
牧野富太郎博士  
の遺稿を基に  
「植物の不思議」  
をテーマに

多様な植物の世界  
Plant Diversity  
**みどりの不思議**

2023 7/22 - 11/26 横須賀市自然・人文博物館  
3階特別展示室  
開館時間 9:00~17:00・入場無料/月曜休館(月曜が祝日・振替休日の場合は翌火曜日)

お問い合わせ 横須賀市自然・人文博物館 | 横須賀市深田台95 | ☎ 046-824-3688  
協力 国立科学博物館、東京大学大学院農学系、東京大学大学院理学系、横須賀市自然・人文博物館ウェブサイト >>>

2023 7/22 - 11/26 横須賀市自然・人文博物館  
3階特別展示室

**みどりの不思議**  
多様な植物の世界

身近な植物から世界の植物まで紹介  
植物の不思議を探ってみよう

横須賀を含む三浦半島は、首都圏にありながら海と「みどり」に  
囲まれており、自然と人のくらしとの距離が非常に近い点が魅力といえます。  
「みどり」ある環境は、様々な生物の生息・繁殖の場となるほか、  
人々の癒いや癒しの場となっています。  
本展示では、この「みどり」を構成する「植物」について、  
身近なものから世界のものまで、  
植物のそのものの魅力と機能を伝えます。

身近な野生植物や  
くらしに関わる栽培植物まで広く紹介!

世界最大・最小・最長の植物を知ろう!

ハチの風持ちになってみよう!  
「ハチの風持ち」は「はいれ、あすて」  
大きな花模様のの中に入って花粉媒介者体験!

学芸員 展示解説します! 7/22と9/23 14:00~15:00

関係講演会  
8/11 (土) 10:00  
「みどりの不思議 植物研究の楽しさ」  
講師 山本真一(横須賀市自然・人文博物館)

9/30 (土) 10:00  
「野生ランと食虫植物」  
講師 津川真由美(筑波大学大学院生物圏科学研究科)

アクセスマップ  
横須賀市自然・人文博物館 横須賀市深田台95 | ☎ 046-824-3688

特別展示

「みどりの不思議—多様な植物の世界—」

第7回  
**みんなの理科フェスティバル**

2024 1/20日 - 21日  
9:30~17:00

「みんなの理科フェスティバル」は、みんなが理科で遊ぶ、楽しむ、学ぶためのイベントです。

会場：横須賀市自然・人文博物館 3階特別展示室  
1/20 - 21 10:00 ~ 16:00

みんなの理科フェスティバル  
「よこすか子ども科学館」の  
「よこすか子ども科学館」の  
「よこすか子ども科学館」の  
「よこすか子ども科学館」の

文化会館  
1/20 10:40 ~ 12:30  
1/21 13:30 ~ 16:00

家族のつながり  
1/20 13:30 ~ 16:00  
1/21 9:30 ~ 17:00

ワークショップ  
1/20 10:00 ~ 16:00  
1/21 9:30 ~ 17:00

入場無料 申込不要

横須賀市自然・人文博物館では、毎年冬に「みんなの理科フェスティバル」を開催し、所蔵や貸出を超えた「交流の場」を創出し、小中学生の理科の学びを応援する機会を創出しています。

文化会館  
1/20 - 21 10:00 ~ 16:00

みんなの理科フェスティバル  
1/20 10:40 ~ 12:30  
1/21 13:30 ~ 16:00

家族のつながり  
1/20 13:30 ~ 16:00  
1/21 9:30 ~ 17:00

ワークショップ  
1/20 10:00 ~ 16:00  
1/21 9:30 ~ 17:00

博物館  
1/20 - 21 9:00 ~ 17:00

1/20 10:00 ~ 16:00  
1/21 10:00 ~ 16:00

みんなの理科フェスティバル

## 博物館事業概要

令和5年度（2023年4月～2024年3月）

## 6 展示教育普及事業

## (1) 主催事業①（展示）

## ア 特別展示・企画展示（本館特別展示室）

タイトル	展示種別	担当	開催期間	見学者数	備考
みどりの不思議 - 多様な植物の世界 -	特別展示	山本	7月22日～11月26日 [112日]	24,664人	身近なものから世界のものまで、多様な植物を展示した。
牧野富太郎がみつめた植物 - 植物標本が語るもの -	企画展示	山本	前年度～6月18日 [80日]	18,489人	「植物分類学の父」といわれる牧野富太郎に関連した標本や書簡等を展示した。
横須賀の職人道具	企画展示	瀬川	12月23日～次年度へ継続 [81日]	17,860人	横須賀の成り立ちや特徴をあらわす職人道具について展示した。

計3件：延開催日数273日，延見学者数61,013人

## イ 常設展示

## (ア) 展示更新

○馬堀自然教育園 園路

樹名板12点を追加更新した。馬堀自然教育園。8月17日更新。（担当：山本）

○生体展示コーナー

自然館2階。昆虫類の動的な展示としてカブトムシの幼虫と成虫を展示した。自然館2階。5月及び7月。（担当：内船）

## ウ トピックス展示

## (ア) 自然館

タイトル	担当	開催期間	見学者数	備考
南極の石	柴田	4月22日～6月25日 [56日]	15,638人	南極観測船しらせの母港は横須賀であることから、これまでに寄贈いただいた南極の石を展示した。
カブトムシを調べよう!	内船	7月8日～8月27日 [44日]	10,625人	「三浦半島カブトムシ調査」実施期間に合わせ、調査の概要や過去の成果の一部を紹介し、研究活動への理解を深めた。標本84種103点。
関東大震災100年～横須賀の地震災害に備えて～	柴田	7月29日～9月10日 [38日]	9,643人	関東大震災から100年となるこの年、見学者が地震について正しい知識を持ち、減災について考えるきっかけとなるパネル展示を開催した。
平和中央公園の秋の植物	山本	9月2日～10月22日 [45日]	8,999人	秋の季節に平和中央公園で見ごろを迎える植物を紹介した。
基礎から学ぼう昆虫学の成果展示	内船	10月28日～12月3日 [32日]	9,833人	博物館教室「基礎から学ぼう昆虫学」の当年度受講生および講師による成果として、昆虫標本やスケッチ、写真、観察レポートなどを展示した。
生き物たちのうんちとトイレ	萩原・柴田・内船・山本	11月3日～11月26日 [21日]	4,632人	11月10日の「日本のトイレの日」、11月19日の「世界のトイレの日」に合わせて、トイレについて知り、考えるきっかけとなる展示を企画した。いろいろな動物のうんち（糞）や、トイレのように自分からうんちを遠ざける動物、うんちを分解したり利用したりする生きものなどを紹介した。
干支「タツ・龍・辰年」	萩原・柴田・内船・山本	12月9日～6年1月21日 [33日]	7,769人	令和6年の干支「辰年」に合わせて、タツノオトシゴ、リュウゼツラン、トンボ（ドラゴンフライ）、恐竜など「タツ」や「龍」にちなんだ生物標本約30点を展示。
新着標本2024	萩原・柴田・内船・山本	6年2月3日～次年度へ継続 [50日]	10,391人	初めて公開される、新たに収集または分類整理された自然誌資料のうち、学芸員おすすめの資料を展示した。
今泉先生の見た、いきものたち	内船	6年1月13日～2月12日 [27日]	6,239人	自然環境・河川課主催。みんなの理科フェスティバルの関連講演会でもある「自然環境講演会」の開催に際して、講演者の今泉忠明氏提供の資料をパネルおよび映像にて展示した。

計9件：延開催日数346日，延見学者数83,796人



トピックス展示「新着標本 2024」



トピックス展示「辰年」



トピックス展示「平和中央公園の秋の植物」



トピックス展示「カブトムシを調べよう！」



トピックス展示「キソコン成果展」



トピックス展示「生きものたちのうんちとトイレ」



トピックス展示「関東大震災 100年」

## (イ) 人文館

タイトル	担当	開催期間	見学者数	備考
江戸時代の旅	藤井	4月16日～7月17日 [76日]	19,079人	江戸時代の三浦半島住人による旅について展示した。
安政江戸地震の記録	藤井	7月29日～11月26日 [104日]	23,088人	三浦半島住人の所蔵する記録から安政江戸地震について展示した。
旧横須賀鎮守府長官官舎と日本遺産パネル展	菊地	11月3日～11月26日 [21日]	4,632人	旧横須賀鎮守府長官官舎と日本遺産についてパネル展示を行った。
よこすかうんちく history	瀬川	11月3日～11月26日 [21日]	4,632人	11月10日の「日本トイレの日」と11月19日の「世界トイレの日」にあわせて、トイレの歴史と横須賀市内での下肥の活用について展示した。なお、博物館実習生が中心となり展示を制作した。
昔の道具	瀬川	12月23日～次年度へ継続 [81日]	17,860人	横須賀で使われていた昔の道具を展示した。

計5件：延開催日数303日、延見学者数69,291人



トピックス展示「むかしの道具」(1)



トピックス展示「むかしの道具」(2)



トピックス展示「よこすかうんちく history」

## エ その他

## ○季節展示

ハロウィン展示, 10月21～31日 本館 (担当:山本)

クリスマス展示, 12月9～24日 本館 (担当:山本)

(2) 主催事業② (学習会)

ア 博物館教室

行事名	担当	開催日	開催場所	延参加者数	備考
三浦半島の民俗	瀬川	5月11日, 5月18日 (全2回)	本館, 野外 (長井)	11人	横須賀市長井周辺の民俗について講義をし, 現地にて道切りやぼっくり地蔵などを見学した。
こども海洋教室	萩原	5月13日, 6月10日, 7月8日, 8月12日 (全4回)	本館, 天神島	95人	実験や観察によって海洋に関する基礎知識を学ぶとともに, 海洋生物の模型や標本作りを体験します。
そだててしらべる! カブトムシ	内船	5月13日, 7月8日 (全2回)	本館 (講堂)	57人	身近な昆虫であるカブトムシを教材に, 飼育体験を通じて昆虫の形や生態について学んだ。1回目に配布したカブトムシの幼虫を飼育し, 羽化した成虫を2回目に持参していただいた。また, 当館の「カブトムシ移動調査」について理解を深める機会とした。
基礎から学ぼう昆虫学	内船	5月28日, 6月11日, 7月16日, 8月20日 (全4回)	本館, 平和中央公園, 県立観音崎公園	121人	身近な昆虫観察に必要な知識・技術を習得し, 地域の自然環境を継続的にモニタリングできる人材の育成を目標に実施した。本館・平和中央公園のほか, 県立観音崎公園でも実施した。学習成果は本館にて展示した。三浦半島昆虫研究会のボランティア指導は延81人。
平和中央公園の生きものしらべ「初夏」(ボランティア養成講座)	内船・山本	6月3日, 6月18日 (全2回)	本館, 平和中央公園	11人	博物館と一緒に平和中央公園の動植物を調べるボランティアの養成を目的に, 初夏の平和中央公園について過去の調査の説明と実際の調査体験を行った。延21人のボランティアも参加した。
はじめての植物標本づくり	山本	6月17日, 6月24日 (全2回)	講堂	44人	植物標本をつくり, 植物学の基礎的な知識を身につけた。また, 標本をつくり, 博物館に残す意義を学ぶ機会となった。
古文書講座 (初級編)	藤井	8月6日, 8月13日, 8月20日 (全3回)	本館	39人	江戸時代の古文書 (コピー) をテキストとして, 基本的なくずし字の読み方や史料の読み解き方について学ぶ連続講座。初級者向け連続講座。
平和中央公園の生きものしらべ「秋」(ボランティア養成講座)	内船・山本	9月17日, 10月1日 (全2回)	本館, 平和中央公園	21人	博物館と一緒に平和中央公園の動植物を調べるボランティアの養成を目的に, 秋の平和中央公園について過去の調査の説明と実際の調査体験を行った。延12人のボランティアも参加した。
三浦半島の都市建築史	菊地・亀井	11月10日, 11月17日 (全2回)	本館	31人	横須賀・三浦半島の近代化と都市化について, 歴史的建造物を通して考えた。
横須賀ジオツアー	柴田	6年2月11日, 2月25日・3月10日・3月24日 (全4回)	本館, 野外	81人	三浦半島の地球科学について室内で解説したのち, 野外の地層を3か所で観察した (天神島, 荒崎, 三浦市浜諸磯)。

計 10 件：延開催日数 27 日, 延参加者数 511 人



博物館教室「はじめての植物標本づくり」



博物館教室「こども海洋教室」



自然観察会「ジオツアー」



自然観察会「基礎から学ぼう昆虫学」



博物館教室「平和中央公園のいきもの調べ・秋」

## イ 自然観察会

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
海藻入門	山本	4月23日	天神島臨海自然教育園	6人	天神島臨海自然教育園で相模湾沿岸の海藻を観察し、海藻押し葉をつくった。41種の海藻を観察できた。
荒崎の地層	柴田	4月23日	横須賀市荒崎	14人	荒崎の地層を観察し、三浦半島の生い立ちについて解説した。
ホタルの観察①②③	内船	①6月3日 ②6月10日 ③6月17日	馬堀自然教育園	135人	ホタルの生態や自然教育園による環境整備・生物保護活動について解説を行い、ホタルを観察した。今年度から3回の実施とし、①ではゲンジボタル35個体のみ、②ではゲンジボタル50個体、ヘイケボタル2個体、③ではゲンジボタル30個体、ヘイケボタル40個体が確認された。
ウミウシの観察	萩原	6月3日	天神島臨海自然教育園	雨天中止	潮が引いた磯で見られる、「ウミウシ」を観察した。
潮だまりの生き物	萩原	8月3日	天神島臨海自然教育園	15人	天神島臨海自然教育園の潮だまりにくらす生き物の観察した。
箱めがねで磯の生き物観察	萩原	8月17日	天神島臨海自然教育園	25人	水中観察の道具「箱めがね」を使って、磯の生き物たちの水の中の生態を観察した。
夜の昆虫かんさつ①②	内船・山本	①8月4日 ②8月5日	天神島臨海自然教育園	50人	自然教育園が有する海岸の自然環境と博物館の調査活動とを体験する機会として、夜間昆虫調査をテーマに観察会を実施した。明かりに集まる昆虫や夜の砂浜を徘徊する昆虫等を観察したほか、ハマオモトと訪花昆虫の解説も行った。
貝山地下壕の地層	柴田	9月30日	貝山地下壕	18人	横須賀海軍航空隊の施設であった貝山地下壕の地層を観察した。

つくって学ぶ！ したこけテラリウム	山本	11月4日, 11月5日	馬堀, 本館, 平和中央公園	43人	花が咲かない植物について学びながら, 自宅でかざれるテラリウムをつくった。
冬の植物観察と クリスマスクラフト	山本	12月10日, 12月17日	馬堀, 本館, 平和中央公園	32人	馬堀自然教育園や平和中央公園を散策しながら冬に見られる果実や種子を観察した。散策後は, 自然の素材をつかってクリスマスリースなどをつくった。
トウキョウサンショウウオの観察	萩原	6年3月9日	馬堀自然教育園	16人	県内では三浦半島にだけ生息し, 馬堀自然教育園内で移植・保護されている希少な両生類トウキョウサンショウウオの卵や幼生を観察した。
食べられる植物さがし	山本	6年3月23日	馬堀自然教育園	24人	「食・薬・毒」に着目して, 馬堀自然教育園で見られる春の植物を観察した。

計 12 件：延参加者数 378 人



自然観察会「潮だまりの生き物」



自然観察会「箱めがねで磯の生き物観察」



自然観察会「荒地の地層」



自然観察会「ホタルの観察」



自然観察会「貝山地下塚の地層」



自然観察会「クリスマスクラフト」



自然観察会「テラリウム」



自然観察会「海藻入門」

## ウ 展示解説・ガイドツアー

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
歴史展示ツアー ①②（歴史・民俗編）	菊地・瀬川・藤井	① 4月 22日 ② 8月 23日	人文館	21人	人文館 2階常設展示の解説を行った。
文化財収蔵庫解説	瀬川	4月 29日	文化財収蔵庫	36人	国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具」について安室知神奈川大学教授が解説を行った。
自然館ミュージアムトーク①～④	萩原・柴田・内船・山本	① 5月 3日 ② 8月 27日 ③ 11月 3日 ④ 6年1月 4日	自然館	202人	自然館の常設展示、トピックス展示について担当学芸員が解説した。
特別展示解説「みどりの不思議」 ①②	山本	① 7月 22日 ② 9月 23日	特別展示室	58人	展示内容について学芸員がわかりやすく解説した。
博物館たんけん	瀬川・柴田	7月 27日	本館	17人	資料室のバックヤードなど博物館の舞台裏をご案内し、貴重な資料などを紹介した。
企画展示解説「横須賀の職人道具」	瀬川	12月 23日	特別展示室	10人	企画展について、学芸員が展示資料の見所や収集にまつわるエピソードなどを交えて解説した。
子ども歴史展示ツアー①②（小・中・高生対象）	菊地・瀬川・藤井	6年2月 15日	人文館	15人	市立の小中高が休校となる市政記念日に合わせて小中高の児童・生徒を対象に人文館常設展示の解説を行った。
企画展示解説「横須賀の職人道具」 鉦がけ実演会	瀬川	6年3月 30日	特別展示室	45人	企画展示の解説とともに、職人による鉦がけの実演と体験会を実施した。
天神島ガイドツアー	小長谷	毎月第4日曜日 曜（計12回）	天神島臨海自然教育園	78人	毎月その時々天神島臨海自然教育園の見どころを解説した。

計9件：延開催日数 25回，延参加者数 482人



「博物館たんけん」



「ミュージアムトーク③」



展示解説「ミュージアムトーク」②

エ ワークショップ

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
子ども地球教室	柴田	7月30日	科学教室・講堂	38人	化石や岩石の観察，地層形成実験，地震による液状化実験，地震への減災などについて解説した。 協力：三浦半島活断層調査会
植物実験！みどりの不思議	山本	8月5日	講堂	17人	植物の葉から色素を抽出し，光合成に関する実験・観察をした。また，葉脈標本をつくって葉のしくみを学んだ。
自分でつくる化石レプリカ①②	柴田	8月19日 ①午前 ②午後	講堂	107人	アンモナイトとモササウルスの歯の化石レプリカをつくり，大むかしの生物について学習した。
身近な自然でミニクラフト①～④	山本	① 12月23日 ② 6年1月6日 ③ 6年2月15日 ④ 6年3月30日	講堂・1階ホール	291人	身近な植物の押し花素材や，種子や果実，貝殻を用いてクラフト作品を自由につくった。自然に親しむ機会となった。
琥珀レジンづくりで学ぶ大昔の昆虫	内船	6年2月12日	講堂	24人	昆虫の進化と昆虫化石の一つである琥珀について学び，調査用に収集した昆虫を，琥珀をイメージしたレジンに封入する体験を提供した。
はじめての古文書	藤井	6年2月18日	講堂	13人	江戸時代の古文書をテキストとして，くずし字読解の方法などについて講義した。

計6件：延参加者数 490人

(3) 主催事業③ (イベント等その他)



ワークショップ「こども地球教室」



ワークショップ「化石レプリカ」



ワークショップ「クラフト」①



ワークショップ「クラフト」②



ワークショップ「植物実験」



ワークショップ「琥珀レジン」

## ア 博物館講演会

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
横須賀歴史物語①講演「近代的な都市基盤の整備」	菊地・瀬川・藤井	5月14日	講座室	30人	横須賀の都市形成の歴史について講演を行った。講師は当館職員亀井泰治。
横須賀歴史物語②講演「近代的な市街地の整備」	菊地・瀬川・藤井	6月24日	講座室	40人	横須賀の市街地形成の歴史について講演を行った。講師は当館職員亀井泰治。
スタディートーク・自然の探究①「みどりの不思議」	山本	8月11日	講座室	25人	特別展示に関連し、植物の専門家の外部講師と博物館学芸員による植物の魅力について講演を行った。
スタディートーク・自然の探究②「三浦半島の地層研究最前線」	柴田	9月9日	講座室	68人	三浦半島の地層と化石、活断層について紹介するほか、発生100年となった関東大震災についても解説した。
スタディートーク・自然の探究③「サンゴ礁の生き物」	萩原	10月14日	講座室	8人	博物館学芸員が調査・研究の過程で収集した画像・映像とともに、サンゴ礁の美しい生き物や変わった生態について紹介した。
横須賀歴史物語③研究発表会「横須賀海軍工廠から航空技術廠へ」	菊地・瀬川・藤井	11月3日	講座室	68人	横須賀市の追浜地区にあった横須賀海軍航空隊と航空技術廠についての研究発表を行った。発表者は永久淳雄氏。
スタディートーク・自然の探究④「カブトムシ、海を渡る」ほか	内船	11月11日	講座室	24人	博物館が行っている「カブトムシ移動調査」の方法と成果について、生物の移動分散について触れながら分かりやすく解説した。

横須賀歴史物語④クロストーク 「横須賀の現代建築の特徴と源流 について」	菊地・瀬 川・藤井	6年2月24日	講座室	19人	当館や横須賀市役所、文化会館など、身近な現代建築を題材に、これらの建築デザインに影響を与えた建築や建築家の存在、時代性などについて考えるクロストークを実施した。講師は当館菊地学芸員、当館職員亀井泰治。
「キノコから見る里山地域の学芸員が探る人と自然の営み」	内船・萩 原・柴田・ 山本	6年3月20日	講座室	62人	大阪市立自然史博物館の佐久間大輔氏による講演会。分野横断型の研究活動をテーマとしたクロストークでは萩原・柴田・山本学芸員も登壇し、議論を深めた。

計9件：延参加者数 344人

### イ 研究発表会

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
みんなの理科フェスティバル	内船・山本・ 萩原・柴田	6年1月20日、 1月21日	本館・文化会館	3,239人	学芸員や小中学生、高校生、大学生、市民団体等の研究成果展示、ワークショップ、関連講演会等を行った。

計1件：延開催日数2日、延参加者数 3,239人

### ウ 特別公開

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
文化財収蔵庫公開	瀬川	4月28日～4 月30日、11 月2日～11月 5日〔7日〕	文化財収蔵庫	390人	普段は公開していない国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具 2,603点を公開した。



特別公開「ナイトミュージアム」

ナイトミュージアム	内船・萩原・柴田・山本・瀬川	10月28日	本館	83人	参加者を4つのグループに分け、時間差で常設展示（自然館1階、同2階、人文館2階）を案内したほか、講堂では博物館制作動画の上映とオリエンテーション、1階ホールではグッズ販売、セルフガイドの解答配布、アンケートなどを実施した。開催にあたり近隣商店街・町内会関係者13人を含む23人のボランティアに協力いただいた。
-----------	----------------	--------	----	-----	--

計2件：延開催日数8日，延参加者数473人

## エ クイズラリー

行事名	担当	開催日	開催場所	参加者数	備考
博物館クイズ「すかさずの挑戦状」①	柴田	8月11日～8月20日[9日]	本館	336人	記念品がもらえるクイズイベントを開催した。問題用紙のクイズを解くと合言葉が得られ、記念品が入った宝箱の場所がわかるように工夫した。
博物館クイズ「すかさずの挑戦状」②	柴田	9月16日～9月24日[8日]	本館	101人	同上。
博物館クイズ「すかさずの挑戦状」③	柴田	10月14日～10月15日[2日]	本館	58人	同上。
博物館クイズ「すかさずの挑戦状」④	柴田	11月18日～11月26日[8日]	本館	76人	同上。
博物館クイズ「すかさずの挑戦状」⑤	柴田	12月23日～6年1月21日[21日]	本館	435人	同上。
博物館クイズ「すかさずの挑戦状」⑥	柴田	6年3月16日～6年4月7日	本館	195人	同上。



博物館クイズ①



博物館クイズ②

## オ おでかけ博物館

行事名	担当	開催日	開催場所	備考
第14回	内船・柴田・山本・飯島	4月1日	文化会館	横須賀ブックミュージアム2023
第15回	北山・萩原・藤井・飯島	9月30日	よこすか海岸通り	うみかぜストリートカフェ×よこすかコーストパフォーマンス
第16回	内船・萩原・瀬川・飯島	10月8日	中里通り商店街	うわまつり2023
第17回	北山・内船・山本・飯島	11月12日	県立保健福祉大学	わんぱくフェスティバル2023

計4件：延開催日数4日

**(4) 主催事業④ (出版・制作)****ア 館報 70号**

PDFデータのみ公開。12月発行。A4判69ページ。  
無料。(担当:萩原)

**イ 研究報告(自然) 71号**

6年3月20日発行。B5判30ページ。450円。(編集委員:  
柴田・萩原・内船・山本, 担当:柴田)

柴田健一郎・西田尚央・松川正樹:ドローン撮影とフォト  
グラムメトリーによる地質柱状図の作成:1-12.

内船俊樹:横須賀市平和中央公園における昆虫等調査  
(予報):13-20.

蓮井瑠渚・山田純菜・米山妃奈・竹田陽介・橋本 透・  
子林耕陽・佐藤秀成・山本 薫・内船俊樹:三浦半島  
のハマダンゴムシの体色の類型化と生息環境との関係  
の考察:21-28.

山本 薫・高橋徹男:三浦半島で確認されたヨシススキ  
(イネ科):29-30.

**ウ 研究報告(人文) 68号**

6年3月25日発行。B5判63ページ。550円。(編集・  
担当:藤井・瀬川)

白石哲也・中村賢太郎・野内秀明:横須賀市吉井貝塚及  
び江戸坂貝塚出土資料の放射性炭素年代測定-縄文時  
代早期及び中期の新試料を用いた放射性炭素年代-:  
1-9.

宇根宏紀・靱持輝久・佐藤孝雄:間口A 洞窟の脊椎動  
物遺体-横須賀市自然・人文博物館所蔵資料に関する  
報告-:11-24.

原田保子・瀬川 渉:昭和期における横須賀市長坂の農  
耕について-高橋豊家氏の語りから-:25-32.

山本 薫・藤井明広:植物学者牧野富太郎博士からの手  
紙-当館初代植物学担当・大谷茂学芸員関係史料の  
紹介を中心に-:33-63.

**エ 資料集**

資料集の発行は行わなかった。

**オ その他****(ア) クリアファイル**

特別展示に合わせてオリジナルデザインのクリアファ  
イルを製作した。A4サイズ。200円

**(イ) 特別展示解説書『三浦半島の植物』**

特別展示の内容をもとに、1989年刊行の『三浦半島

の植物-最近の研究成果から-』を改定した解説書  
を製作した。A4サイズ。500円

**(ウ) 缶バッジクリップピン**

販売用のオリジナルデザインの缶バッジを制作した。  
直径44mmのクリップピン。7月制作:10種類(ア  
オウミウシ, オオシマザクラ, カブトムシ, シロウミ  
ウシ, すかぞう, ナウマンゾウ骨格, ハマオモト, ペ  
リー, 清輝, 陸奥), 11月制作:5種類(アオウミウ  
シ\*, カブトムシ\*, シロウミウシ\*, ハマオモト\*,  
陸奥\*), 3月制作:4種類(オオシマザクラ\*, すか  
ぞう\*, ナウマンゾウ骨格\*, 清輝\*)(\*は追加制作)。  
各200円。(担当:内船)

**(エ) 缶バッジマグネット**

販売用のオリジナルデザインの缶バッジを制作した。  
直径57mmのマグネット。7月制作:9種類(アオ  
ウミウシ, ヴェルニー記念館, オオシマザクラ, オオ  
スズメバチ, ゲンジボタル, すかぞう, ペリー, 天神  
島キャラ, 陸奥), 11月制作:4種類(アオウミウシ  
\*, ヴェルニー記念館\*, 天神島キャラ\*, 陸奥\*), 3  
月制作:2種類(すかぞう, ペリー)(\*は追加制作)。  
各200円。(担当:内船)

**(オ) 缶バッジミラー**

販売用のオリジナルデザインの缶バッジを制作した。  
直径76mmのミラー。7月制作:4種類(ヴェルニー  
記念館, ゲンジボタル, 天神島キャラ, 博物館シルエ  
ット)。各300円。(担当:内船)

**(カ) 額ぶちマグネット**

販売用のオリジナルデザインの額ぶち(缶バッジの変  
形。長辺60mmの長方形)を制作した。マグネット。  
7月制作:4種類(クマノミ, タマムシ, 博物館外観,  
博物館シルエット), 3月制作:4種類(クマノミ,  
タマムシ, 博物館外観, 博物館シルエット)。各400円。  
(担当:内船・山本)

**(キ) エコバッグ大**

販売用のオリジナルデザインのエコバッグを制作し  
た。展開幅460mm, 自己収納型, 赤。10月制作。  
500円。(担当:内船・山本)

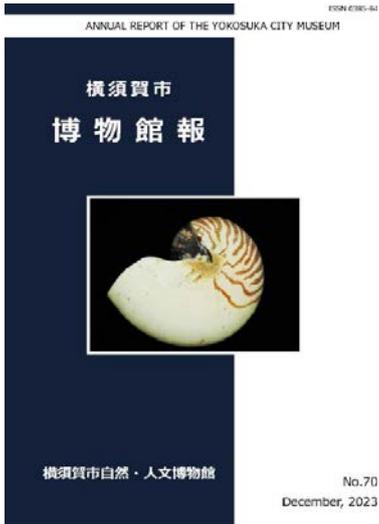
**(ク) エコバッグ小**

販売用のオリジナルデザインのエコバッグを制作し  
た。展開幅300mm, 自己収納型, 黒。10月制作。  
500円。(担当:内船・山本)

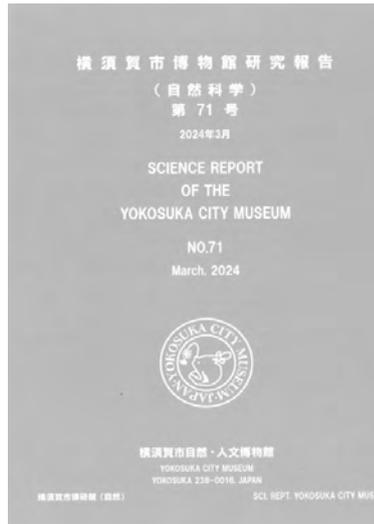
**(ケ) 企画展示クリアファイル**

企画展示「横須賀の職人道具」に際して、販売用のオ  
リジナルデザインのクリアファイルを制作した。A4。

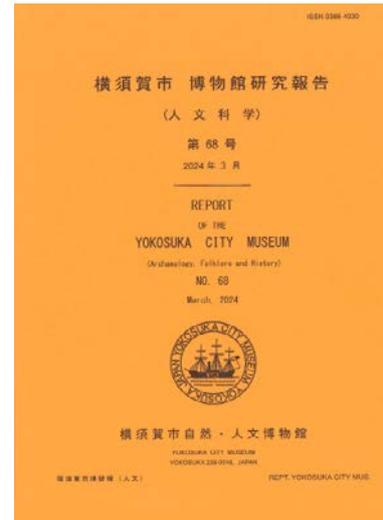
《出版物表紙》



館報 70号 (※ PDFのみ発行)

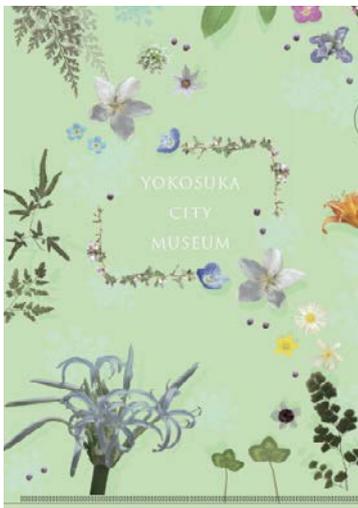


研究報告 (自然科学) 71号



研究報告 (人文科学) 68号

《制作物 (特別展関連グッズ)》



特別展示クリアファイル (表)



特別展示クリアファイル (裏)



特別展示解説書「三浦半島の植物」表紙

《制作物 (缶バッジ)》



アオウミウシ



オオシマザクラ



カブトムシ



シロウミウシ



すかぞう



ナウマンゾウ骨格



ハマオモト



ペリー



清輝



奥陸

《制作物(缶マグネット)》



ゲンジホタル



ヴェルニー記念館



オオスズメバチ

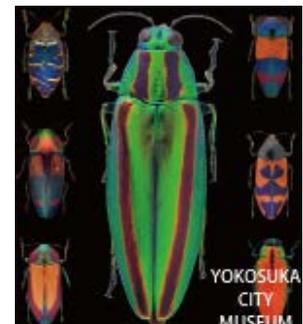


天神島キャラ

《制作物(缶バッジミラー)》



《制作物(額ぶちマグネット)》



《制作物 (エコバック)》



《制作物 (企画展関連グッズ)》



《制作物 (デニムフラットポーチ)》



《制作物 (和柄巾着)》



1月制作. 200円. (担当:内船・瀬川)

(コ) デニムフラットポーチ

販売用のオリジナルデザインのフラットポーチを制作した. 幅230mm, デニム地. 3月制作. 500円. (担当:内船・山本)

(サ) コットン和柄巾着

販売用のオリジナルデザインの和柄巾着を制作した. 幅210mm, コットン生地. 3月制作. 500円. (担当:内船)

## (5) 共催・協力事業

### ア 横須賀市・横須賀市教育委員会主催

○里山的環境保全・活用事業, 自然環境推進事業

年間, 横須賀市建設部自然環境・河川課との共催. 本館ほか. (担当:萩原・内船・山本)

○長井ベース展示

4月, 協力. ソレイユの丘. (担当:内船, 自然)

○横須賀いきもの調査隊 春の観察会

5月14日, 横須賀市建設部自然環境・河川課主催, 長坂(沢山池). (担当:内船・山本)

○理科基礎技術研修講座「昆虫の飼いかた」

5月17日. 横須賀市教育研究所主催. 本館. (担当:内船)

○自然環境調査(身近な自然の保全とふれあい推進事業)

5月18日・9月22日, 横須賀市建設部自然環境・河川課との共催. 東京湾(観音崎)と相模湾(長浜)において市民調査員とともに海岸の植物および昆虫を観察した. 横須賀市鴨井(観音崎)及び同長井(長浜). (担当:内船・山本)

○土曜科学教室「化石レプリカと植物観察と平和中央公園の虫さがし」

6月17日. 横須賀市教育研究所主催. 本館. (担当:内船・柴田・山本)

○前田川リバーウォッチング

7月29日, 横須賀市建設部自然環境・河川課主催. 前田川. (担当:萩原)

○「図書館でわくわく『ムシ』たんけん」

8月2日. 横須賀市立児童図書館主催. 横須賀市立児童図書館. (担当:内船)

○教員理科基礎技術研修

8月4日, 横須賀市教育研究所主催, 走水小学校. (担当:萩原)

○「作る!知る!身近な植物の押し花レジン」

8月6日. 横須賀市立児童図書館主催, 横須賀市立児童図書館. (担当:山本)

○横須賀海洋クラブ

横須賀市企画経営部都市戦略課主催. 8月18日 JAMSTEC, 9月2日浦賀ドック, 9月16日新港~浦賀, 10月7日本館. (担当:萩原)

○調査協力(海岸動物調査)

8月30日, 横須賀市建設部自然環境・河川課主催. 荒崎~長浜海岸(担当:萩原)

○よこすか子ども発明展

9月, 協力. 横須賀市教育委員会学校教育指導課主催. 市内小学校の発明作品の展示. 作品の集約および審査も博物館で実施し, 9月9・10日に講堂にて展示した. (担当:内船)

○横須賀いきもの調査隊 秋の観察会

9月16日, 横須賀市建設部自然環境・河川課主催, 長坂(沢山池). (担当:内船・山本)

○海洋教育副教材編集協力

12月22日, 横須賀市企画経営部都市戦略課主催. 本館. (担当:萩原・藤井)

○「ティボディエ邸と自然・人文博物館見学」

6年1月19日, 衣笠行政センター. ティボディエ邸, 本館. (担当:亀井・柴田)

○自然環境講演会(自然環境推進事業)

6年1月20日, 横須賀市建設部自然環境・河川課主管. 「発見!三浦半島の生物と豊かな自然~“ざんねないいきもの”から身近な自然まで~」をテーマに, 今泉忠明氏が講演を行った. 会場参加者121人. みんなの理科フェスティバルの関連講演会としても位置付けた. 文化会館中ホール. (担当:内船)

○理科基礎技術研修講座

6年3月28日. 横須賀市教育研究所主催. 本館. (担当:山本)

### イ 市内団体・機関等

○モニタリング調査「天神島・笠島及びその周辺水域」

7月7日, 9月29日, 12月1日, 立ち会い. 大楠漁業協同組合主催. 天神島・笠島及びその周辺水域. (担当:萩原)

○横須賀ブックミュージアム

4月1日, 協力. 横須賀ブックミュージアム実行委員会主催. 第14回おでかけ博物館を出展. 文化会館. (担当:内船)

○うわまつり

10月7日, 協力. 上町イベント実行委員会主催. 第16回おでかけ博物館を出展. 中里商店街. (担当:内船)

○わんぱくフェスティバル2023

11月12日, 協力. わんぱくフェスティバル実行委員会主催. 第17回おでかけ博物館を出展. 県立保健福祉大学. (担当: 北山・内船)

○アイクルフェア

11月19日, 協力. 横須賀市地域水質保全協議会主催, リサイクルプラザ・アイクル. (担当: 萩原)

**ウ 市外団体・機関等**

○県土木事務所, 道路整備にかかる希少生物について相談

4月12日, 本館. (担当: 萩原, 内船, 山本)

○県自然環境保護センター, 関東ふれあいの道の看板について相談

5月11日, 本館. (担当: 萩原, 内船, 山本)

○出光興産研究所, 研究相談 (海洋環境について)

8月23日, 本館. (担当: 萩原)

**(6) 学校教育等指導・対応**

**ア 研究指導**

○神奈川県立横須賀高等学校スーパーサイエンスハイスクール (SSH) プリンキピア I.

年間, 本館ほか, 県立横須賀高等学校1学年10人 (担当: 萩原・柴田)

「天神島のプランクトン相の季節変化」, 5人, 指導: 萩原

「軽石漂着の規則性: 天神島の例から」, 5人, 指導: 柴田

○神奈川県立横須賀高等学校スーパーサイエンスハイスクール (SSH) プリンキピア II

年間, 本館ほか, 神奈川県立横須賀高等学校2学年10人 (担当: 内船・山本)

「ユビナガコウモリの食餌昆虫調査」, 6人, 指導: 内船

「三浦半島の植物の多様性」, 4人, 指導: 山本

○神奈川県立横須賀高等学校スーパーサイエンスハイスクール (SSH) プリンキピア III

年間, 本館, 天神島臨海自然教育園, 神奈川県立横須賀高等学校3学年1人 (担当: 内船)

「ユビナガコウモリの食性調査」, 1人, 指導: 内船 (理科ハウスとの共同指導)

○大学生ほか (神奈川県立横須賀高等学校スーパーサイエンスハイスクール (SSH) プリンキピア III 卒業生)

年間, 本館, 大学1年ほか計6人 (担当: 内船・山本) 「三浦半島のハマダンゴムシの体色の類型化と生息環境との関係の考察」, 6人, 指導: 内船・山本 (共著

として当年度研究報告に掲載)

**イ 授業・講義**

○小学校3学年理科

5月12日. 横須賀市立大塚台小学校, 「校庭の生きもの・春」, 校内. (担当: 山本・内船)

9月1日. 横須賀市立田戸小学校, 「カイコについて」, 校内. (担当: 内船)

○小学校3学年社会科

「昔の道具とくらし」の授業の一環として来館した児童に対して, 本館で古民家や昔の道具について説明し質問に答えた. (担当: 瀬川)

7月14日. 横須賀市立沢山小学校

6年2月9日. 横須賀市立池上小学校

6年2月14日. 横須賀市立小原台小学校

6年2月20日. 横須賀市立夏島小学校

6年2月27日. 横須賀市立逸見小学校

6年2月28日. 横須賀市立神明小学校

6年2月29日. 横須賀市立田戸小学校

6年3月1日. 横須賀市立桜小学校

6年3月5日. 横須賀市立久里浜小学校

6年3月12日. 横須賀市立長浦小学校

○小学校5年総合的な学習

10月13日. 横須賀市立久里浜小学校, 「久里浜の自然」, 校内. (担当: 萩原)

10月31日. 横須賀市立夏島小学校, 「横須賀の文化財・万代会館について」. (担当: 亀井)

11月30日. 横須賀市立根岸小学校, 「脱穀体験」. (担当: 瀬川)

○6年総合的な学習

12月14日. 横須賀市立田戸小学校, 「危険な生き物」, 本館. (担当: 萩原)

○小学校6学年理科

6月1日. 田園調布雙葉小学校, 「三浦半島の地層」, 本館. (担当: 柴田)

6月28日・7月14日. 横須賀市立田浦小学校, 「生き物のくらしと環境」, 校内. (担当: 内船)

10月3日, 10月31日. 横須賀市立野比小学校, 「大地のつくり (地層の観察)」, 野比海岸, 野比小学校. (担当: 柴田)

11月8日. 横須賀市立大津小学校, 「大地のつくり (地層の観察)」, 堀ノ内. (担当: 柴田)

11月8日. 横須賀市立走水小学校, 「大地のつくり (地層の観察)」, 観音崎. (担当: 柴田)

○中学校

11月10日. 横須賀市立常葉中学校2年, キャリア教育プログラム「博物館学芸員の仕事」, 常葉中学校. (担当: 萩原)

11月16日. 「博物館学芸員の仕事」, 横須賀市立池上中学校2年, 横須賀キャリア教育推進事務局主催. 池上中学校. (担当: 内船)

#### ○高等学校

6月4日. 県立生田高校, 「海の生き物観察会」, 天神島. (担当: 萩原)

6年3月8日. 慶應義塾湘南藤沢高等部, 「バックヤードツアー」, 本館. (担当: 柴田)

#### ○大学学芸員課程等

4月8日. 関東学院大学1年, 「長浜海岸の自然」, 長浜海岸. (担当: 萩原)

5月10日. 関東学院大学人間共生学部, 「歴史的建造物の地域遺産としての保存と活用」, 関東学院大学. (担当: 亀井)

5月27日. 日本大学生物資源科学部, 「博物館実習I」, 展示室およびバックヤード等をオンラインで解説した. 本館. (指導: 萩原・柴田・内船, 担当: 内船)

6月21日. 関東学院大学人間共生学部, 「近代化産業遺産の保存・活用の実践」, 関東学院大学. (担当: 亀井)

7月25日. 立正大学学芸員課程, 本館 (担当: 藤井)

8月15日. 立正大学学芸員課程, 本館 (担当: 藤井)

9月26日. 関東学院大学建築環境学部, 「浦賀地域の歴史について」, 関東学院大学. (担当: 亀井)

11月4日. 神奈川大学, 「博物館教育論」, 本館 (担当: 内船・山本)

11月18日. 東海大学, 「社会教育実習」, 「横須賀市自然・人文博物館の地域における活動」について講義した. 本館. (担当: 内船)

#### ウ 非常勤講師

○北里大学海洋生命科学部, 博物館概論, 4月1日～8月31日, 北里大学相模原キャンパス (担当: 萩原)

○神奈川大学, 「博物館経営論」「博物館展示論」, 4月～6年3月, 神奈川大学みなとみらいキャンパス. (担当: 瀬川)

○信州大学, 「博物館実習I」, 5月, 信州大学旭キャンパス. (担当: 内船)

○神奈川大学, 「博物館教育論」, 9月～6年3月, 神奈川大学横浜キャンパス. (担当: 内船)

○立教大学, 「博物館教育論A」・「博物館教育論B」, 9月～6年3月, 池袋キャンパス (担当: 藤井)

#### エ 見学・相談・質問対応

○神奈川大学学芸員課程 4月29日, 本館. (担当: 瀬川)

○公文国際学園高等学校生物部, 研究相談 (海綿動物について), 4月30日. (担当: 萩原)

○法政大学学生, 研究相談 (横須賀の産業遺産と浦賀ドックについて), 6月9日. (担当: 亀井)

○市内小学生, 自由研究相談 (ハゼの研究について), 8月18日. (担当: 萩原)

○市内中学生, 研究相談 (魚類の研究・論文執筆について), 8月25日, 9月9日, 9月23日, 11月18日, 12月6日, 6年1月5日, 1月13日, 3月26日. (担当: 萩原)

#### オ 職場体験指導

11月～3月, 県立三浦初声高校1人. (指導: 小尻・萩原・柴田・峯山・内船・山本, 担当: 内船・小尻)

#### カ 博物館実習

○8月15日～25日 (21日を除く), 13人. 本館・馬堀自然教育園・天神島臨海自然教育園・ヴェルニー記念館. 実習生所属大学等: 神奈川大学・日本大学・駒澤大学・専修大学・立正大学・三重大学・鶴見大学・信州大学・相模女子大学・立教大学・北里大学・東京農業大学. (指導: 菊地・萩原・柴田・内船・山本・瀬川・藤井・亀井. 担当: 内船)

#### (7) 学校教育以外の指導・対応

##### ア 委員等・市民団体・会議等協力

○横浜市ミヤコタナゴ保護育成検討委員会, 専門委員, 年間. (担当: 萩原)

○県立生命の星・地球博物館, 神奈川自然誌資料編集委員, 年間. (担当: 萩原)

○三浦半島活断層調査会, 調査研究員, 年間 (担当: 柴田)

○環境教育・環境学習推進懇話会, 委員. 横須賀市環境部, 年間 (担当: 内船)

○三浦半島昆虫研究会, 編集委員・例会幹事, 年間 (担当: 内船)

○横須賀植物会, 顧問, 年間. (担当: 山本)

○三浦市緑の審議委員, 委員, 年間. (担当: 山本)

○小網代の森 環境整備・管理計画 改定専門部会, 委員, 年間. (担当: 山本)

○熊谷市史編さん委員会 (近世部会), 専門調査員. 埼玉県熊谷市, 年間 (担当: 藤井)

○にかほ市仁賀保勤労青少年ホーム展示リニューアル検

討委員会, 委員, 秋田県にかほ市, 6月~6年3月 (担当: 藤井)

## イ 指導・講師

### (ア) 講師

#### ○理科部会総会「三浦半島の地質」

4月12日. 横須賀市中学校教育研究会理科部会主催. 講座室. (担当: 柴田)

#### ○特別講演「三浦半島の地球科学と地質学的見どころ」

5月6日. 三浦半島活断層調査会総会. 横須賀市文化会館. (担当: 柴田)

#### ○「ホテルの観察会」

6月6日. 横須賀市立走水小学校主催. 走水小学校. (担当: 内船)

#### ○「ソレイユの丘生き物探し」

6月25日. よこすか田んぼ研究会主催. ソレイユの丘. (担当: 内船)

#### ○「苔テラリウム作り教室」

6月25日. 東京都檜原都民の森主催, 東京都檜原村. (担当: 山本)

#### ○「はじめてのシダ観察」

6月30日. 東京都檜原都民の森主催, 東京都檜原村. (担当: 山本)

#### ○「横須賀・下町のまちづくりの歴史」

7月1日. 三浦半島の文化を考える会, ヴェルクよこすか. (担当: 亀井)

#### ○「牧野富太郎博士と横須賀・神奈川との関係」

7月26日. MS研究会主催, 追浜コミュニティセンター. (担当: 山本)

#### ○「砂村一族と内川新田」

7月27日, 江東区文化コミュニティ財団砂町文化センター主催, 東京都江東区. (担当: 藤井)

#### ○「けんび鏡でみるふしぎな世界」

7月29日. 国際生態学センター主催, 天神島臨海自然教育園. (担当: 山本)

#### ○「昆虫博士になろう！」

8月1日, 田浦コミュニティセンター主催. 田浦コミュニティセンター. (担当: 内船)

#### ○「こども科学探検隊」

8月3日. 神奈川県青少年センター主催, 本館. (担当: 山本)

#### ○「サイエンスキャリアプログラム」

8月4日. 神奈川県青少年センター主催, 本館. (担当: 山本)

#### ○令和5年度横須賀市市民大学 (夏季特別講座) 「関東

大震災と横須賀の復興」: 「関東大震災と近年の地震災害」

8月30日. 横須賀市生涯学習財団主催. 横須賀市生涯学習センター. (担当: 柴田・亀井)

#### ○「三浦半島の花たち その歴史をいろいろ植物」

9月13日. 16ミリ試写室主催, 横須賀市立中央図書館. (担当: 山本)

#### ○「牧野富太郎の植物標本 植物研究のおもしろさ」

10月2日. 鎌倉市教養センター主催, 鎌倉市教養センター. (担当: 山本)

#### ○キャリア教育プログラム

10月12日. 横須賀キャリア教育推進事務局主催. 城北小学校. (担当: 山本)

#### ○高度技術者育成と技能伝承研究会, 講演会「放課後博物館の歴史と教育」講師

10月21日. 本館. (担当: 萩原)

#### ○「横須賀の茅葺民家 万代会館を考える」

10月21日. 横須賀建築探偵団, 万代会館. (担当: 亀井)

#### ○自然観察と植物クラフト

10月9日. 武山中学区育成推進委員主催. 武山コミュニティセンター. (担当: 山本・内船)

#### ○「旧横須賀鎮守府長官官舎と桜井小太郎」

11月2日, よこすかシティガイド協会. 本館. (担当: 亀井)

#### ○「猿島 観察会」

11月11日, かながわトラストみどり財団主催, 猿島. (担当: 山本)

#### ○「ぶらり博物館散歩 逸見・汐入地区の歴史遺産」

11月30日. 横須賀市生涯学習財団市民大学 (後期). まなびかん. (担当: 亀井)

#### ○学習会「三浦半島の生い立ちと地層」

12月21日. サラリーマンOB会主催. 金沢地区センター. (担当: 柴田)

#### ○「昆虫の話」

6年1月13日, 退職公務員連盟横須賀支部主催. 本館. (担当: 内船)

#### ○「観音崎公園の史跡について」

6年2月7日, 株式会社トライアングル. 観音崎公園. (担当: 亀井)

#### ○「大滝町と路地文化」

6年2月12日, 地縁法人大滝町会. 大滝会館. (担当: 亀井)

#### ○「猿島公園史跡について」

6年2月20日, 株式会社トライアングル. 猿島公園

- 史跡について。(担当：亀井)
- 「中央エリアの街の成り立ちについて」  
6年2月20日，横須賀中央エリアまちづくり景観協議会。大滝会館。(担当：亀井)
- 国指定天然記念物「諸磯の隆起海岸」露頭見学会  
6年3月2日。神奈川県学会主催。三浦市三崎町諸磯。(担当：柴田)

(イ) 指導

- 「水辺公園の昆虫類」  
4月10日，5月6日，8月5日，水辺公園友の会主催。光の丘水辺公園(担当：内船)
- 「逸見地区のホテルを含む環境整備」  
6月～3月，西逸見地域。(担当：内船)
- 県立青少年センター，自然観察会「天神島に行こう！」，  
7月2日，天神島。(担当：萩原)
- ちきゅうのがっこう 2023～森から海へ出よう～  
9月10日。株式会社 OSOTO 主催。天神島臨海自然教育園。(担当：内船・山本・小長谷)
- 景観指定樹木調査(学校管理課・まちなみ景観課)

- 9月21日，ツツジ，沢山小学校。(担当：山本)
- 10月13日，ソメイヨシノ。追浜中学校。(担当：山本)
- ほたるの里 環境整備  
11月2日，横須賀市立走水小学校主催。走水小学校。(担当：内船)
- 横須賀市地域水質保全協議会，河川調査指導  
11月15日，平作川。(担当：萩原)
- 「博物館ウォッチング」  
11月19日，麻布科学実験教室主催。本館。(指導：萩原・内船・山本，担当：内船)

ウ 見学対応等

- 「小栗上野介を語る」現地解説  
8月16日，17日，31日。久里浜コミュニティセンター主催。浦賀ドックほか。(担当：亀井)
- 「ぶらり博物館散歩 博物館バックヤード案内」  
11月2日。横須賀市生涯学習財団市民大学(後期)。本館。(担当：亀井・萩原)
- Sense Island トーク，  
12月2日，本館。Sense Island 実行委員会主催(担当：亀井・柴田)



総合防災訓練 (1)



総合防災訓練 (2)

(8) 報道発表・取材等協力

ア 報道発表

日付	表題	担当
7月11日	特別展示「みどりの不思議－多様な植物の世界－」の開催について	峯山・山本
8月9日	博物館クイズ「すかぞうの挑戦状」の開催について	峯山・柴田
9月7日	博物館クイズ「すかぞうの挑戦状」の開催について	峯山・柴田
11月1日	トピックス展示「2企画」の開催について	峯山・萩原・菊地
12月20日	企画展示「横須賀の職人道具」について	峯山・瀬川
6年1月11日	「第7回みんなの理科フェスティバル」の開催について	峯山・内船

計6件

イ 取材対応・出演(新聞・雑誌・テレビ)

対応内容もしくは番組・記事表題	報道機関等	取材等対応日	担当
企画展「牧野富太郎がみつめた植物」取材対応	神奈川新聞	4月2日	山本

「Lovely Day」の「街角リポート」取材対応・出演 NHK-BS「ヒューマニエンス」制作協力	FMヨコハマ NHK	4月13日 4月5日, 17日, 5月16日	山本 内船
「ちょうどいいラジオ」. 昆虫の名称について	FMヨコハマ	4月12日, 15日, 19日	内船
「仏海軍のフリゲート艦「プレリアル」横須賀港来航」に伴う日仏交流史に関するインタビュー相談	テレビ朝日	4月19日	菊地
「かながわ情報羅針盤」取材	NHK 横浜放送局	4月24日	山本
天神島の見どころについて取材	SHONAN TIME	5月13日	萩原
こども海洋教室について電話取材	TOKYO FM	5月16日	萩原
横須賀の歴史的動画映像に関する専門家としての所見掲載依頼	神奈川新聞	5月19日	菊地
雑誌「日本鯨紀行」, 博物館収蔵の鯨類および捕鯨資料について取材対応	日本鯨類研究所	6月23日	萩原・菊地
「カナフルTV」天神島について取材	TVK テレビ	6月23日	萩原
トピックス展示「関東大震災 100年」取材	朝日新聞	8月1日	柴田
テレビ「NHK 総合」, 「ダーウィンが来た！」マハゼについて取材	NHK	8月6日	萩原
トピックス展示「タツ・龍・辰年」の取材	はまかぜ新聞	12月6日	柴田
トピックス展示「タツ・龍・辰年」取材	FMヨコハマ	6年1月5日	萩原
テレビ朝日「じゅん散歩」, 浦賀ドック紹介(出演)	テレビ朝日	6年2月6日	亀井
鷹取山の岩石について質問・相談	NHK	6年3月27日	柴田

計 17 件

## ウ 画像や映像の貸出・掲載

対応内容もしくは番組・記事表題	報道機関等	対応日	担当
「ディスカバー土木 - 日本の社会インフラ再発見 -」. 山海見立相撲の画像提供および掲載.	平凡社	4月13日	峯山
第25回咸臨丸フェスティバルにおけるパネル展示. ポータハン号の掲載.	横須賀市	5月2日	菊地
小学道徳ゆたかな心 教師用指導書セット. 三浦按針像の画像提供	光文書院	5月19日	峯山
戦艦陸奥絵葉書の画像提供	神奈川新聞	6月7日	菊地
旅行ガイドブック「ことりっぴ横須賀・逗子・葉山(改訂版)」. スチームハンマーの画像掲載	昭文社	6月14日	峯山
岡安雅彦著『日本における覆い焼きの成立と展開』. 横須賀市大木根東遺跡資料の画像提供	個人	7月6日	菊地
「釣りびと万歳」. 山海見立相撲の画像提供	NHK	7月22日	峯山
横須賀の震災写真	タウンニュース	8月5日	峯山
『東大王』. ベリーの画像提供	TBS テレビ	8月5日	峯山
「ブラタモリ」. 東京駅の画像提供	NHK	8月23日	峯山
「機関誌」. ベリー上陸図の画像提供	神奈川県労働者福祉協議会	8月24日	峯山
三浦按針像の画像掲載	横須賀市	9月13日	藤井
鷹野晃『定点写真で見る 東京今昔』. 東京駅の画像掲載	株式会社光文社	9月20日	菊地
「かがくのおはなし」恐竜の足跡化石画像の貸出	JTB パブリッシング	10月28日	柴田
「NHKスペシャル 家康の世界地図」. 山海見立相撲の画像掲載	NHK	11月1日	峯山
高等学校教科書「改訂版 ON! 1」. 弾琴男子椅座人物埴輪の掲載	音楽之友社	11月9日	峯山
令和5年度高等学校卒業程度認定試験問題. 恐竜の足跡化石画像の貸出	文部科学省	11月15日	柴田
「号外! 日本史スクープ砲」. 横須賀製鉄所の画像提供.	BS 松竹東急	12月1日	峯山
「じゅん散歩」. 山海見立相撲の画像提供	テレビ朝日	12月26日	峯山
「じゅん散歩」. GRAPHIC SCENES OF THE JAPAN EXPEDITION の掲載	テレビ朝日	6年1月18日	峯山
Eテレ【偉人の年収 How much?】. 万延遣米使節団の画像掲載	NHK	6年1月18日	峯山

計 21 件

## 7 収集調査研究事業

### (1) 調査・研究

#### ア 調査・研究テーマ

- 三浦半島河川生物調査, 年間 (担当: 萩原)
- 三浦半島沿岸生物調査, 年間 (担当: 萩原)
- 天神島タイドプール魚類調査, 年間 (担当: 萩原)
- 三浦半島の地質調査, 年間, 三浦半島 (担当: 柴田)
- 「フォトグラメトリーを用いた地層の3-Dモデル化と地層の動的・参加型の展示開発」科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 研究課題 (JP21K01010), 年間 (担当: 柴田 (研究代表者))
- 「大船渡層群産と宮古層群産の軟体動物化石に基づく前期白亜紀の環北太平洋古生物地理区の成立過程の考察」三陸ジオパーク学術研究助成金研究課題, 8月～6年2月 (担当: 柴田 (研究協力者))
- 三浦半島昆虫相調査, 年間, 三浦半島 (担当: 内船)
- 動植物調査, 年間, 平和中央公園 (担当: 内船)
- 「地域生物相の成立背景を考慮した通史展示への対応: 地域博物館リニューアルに向けて」科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 研究課題 (JP21K01011), 年間 (担当: 内船)
- 地域博物館連携に関する実践的研究, 年間 (担当: 内船)
- 「ヤンバルトサカヤスデ対策調査」保健所生活衛生課所管事業, 年間 (担当: 内船)
- 「自然環境調査に関する生物相調査 (身近な自然の保全とふれあい推進事業)」横須賀市建設部自然環境・河川課所管事業 (担当: 萩原・内船・山本)
- 三浦半島植物相調査, 年間 (担当: 山本)
- 「シダ植物・独立配偶体の日本国内における多様性とその起源の解明」, 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 23H02542, (担当: 山本 (研究分担者))
- 三浦半島の近代建築史・土木史調査, 年間 (担当: 菊地)
- 三浦半島の民俗調査, 年間 (担当: 瀬川)
- 南関東地方における湯立神楽の基礎的研究, 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 研究課題 (19K01218), 年間 (担当: 瀬川)
- 国立歴史民俗博物館共同利用型共同研究「イソガネの形状と機能に関する研究」, 年間 (担当: 瀬川)
- 三浦半島の文献史調査, 年間 (担当: 藤井)
- 旗本に関する研究, 年間 (担当: 藤井)
- 近世関東地域史論, 年間 (担当: 藤井)

### (2) 研究発表・執筆

#### ア 口頭発表等 (ポスター発表含む)

Shibata K., Adhiperdana B. G., Ito M., Milner A. R. C.,

Lockley M. G. 2023. Moderately humid paleoclimates

in western Pangaea during the Late Triassic: Evidence from detrital compositions of the Chinle Formation in southwestern Utah. The 14th Symposium on Mesozoic Terrestrial Ecosystems and Biota. Utah Department of Natural Resources, Salt Lake City, Utah, U.S.A. 6月8日 (ポスター発表)

内船俊樹 2023. カブトムシ, 海を渡る. 菅平動物学セミナー. 11月25日. (口頭発表)

内船俊樹 2024. 研究団体と歩む半世紀～学芸員の活動の揺籃としてのコミュニティ～. 第31回全国科学博物館協議会研究発表大会. 6年2月22日. 滋賀県立琵琶湖博物館. (口頭発表)

山本 薫・柿嶋 聡・山住一郎・岩崎貴也・海老原淳・村上哲明・堤 千絵. 2024. ハチジョウベニシダならびにホコザキベニシダ (オシダ科) の遺伝構造. 日本植物分類学会第22回大会. PB13. 2024年3月仙台  
堤 千絵・柿嶋 聡・山本 薫. 2024. アシタバの遺伝的分化と栽培起源. 日本植物分類学会第22回大会. PB15. 2024年3月仙台

#### イ 論文等執筆

Mitsui S., Lin C-H., Taru H. and Shibata K. 2023. Fish otolith record reveals possible tropical-subtropical fish community in temperate Japan during the exceptionally warm Last Interglacial period. *Historical Biology*, <https://doi.org/10.1080/08912963.2023.2201933>. (5月)

Shibata K., Adhiperdana B. G., Ito M., Milner A. R. C., Lockley M. G. 2023. Moderately humid paleoclimates in western Pangaea during the Late Triassic: Evidence from detrital compositions of the Chinle Formation in southwestern Utah. *The Anatomical Record*, **306** (Suppl. 1): 228–229. Doi: 10.1002/ar.25219. (6月)

井出籠隼人・萩原清司 2024. 相模湾から得られた神奈川県および千葉県初記録かつ北限記録のアオモンギンポ. *Ichthy*, (41): 17–21. (6年2月)

内船俊樹 2024. 研究団体と歩む半世紀～学芸員の活動の揺籃としてのコミュニティ～. 第31回全国科学博物館協議会研究発表大会資料, 115–123. (6年2月)

Yamamoto K., Oka T., Ebihara A., Matsumoto S., Murakami N. and Hori K. 2024. *Dryopteris* × *makabensis* (Dryopteridaceae), a New Hybrid between *Dryopteris caudipinna* and *D. tokyoensis*. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica*, **75**(1): 1–9. (6年2月)

- 柴田健一郎・西田尚央・松川正樹 2024. ドローン撮影とフォトグラメトリーによる地質柱状図の作成. 横須賀市博研報 (自然), (71): 1-12. (6年3月)
- 柴田健一郎 2024. 視線計測を用いた博物館見学者の展示閲覧行動調査: 特別展示「足跡化石から探る太古の世界」の例. 神奈川県博物館協会会報, (95): 35-43. (6年3月).
- 内船俊樹 2024. 横須賀市平和中央公園における昆虫等調査 (予報). 横須賀市博研報 (自然), (71): 13-20. (6年3月)
- 蓮井瑠渚・山田純菜・米山妃奈・竹田陽介・橋本透・子林耕陽・佐藤秀成・山本薫・内船俊樹 2024. 三浦半島のハマダンゴムシの体色の類型化と生息環境との関係の考察. 横須賀市博研報 (自然), (71): 21-28. (6年3月)
- 山本薫・高橋徹男 2024. 三浦半島で確認されたヨシススキ (イネ科). 横須賀市博研報 (自然), (71): 29-30. (6年3月)
- 山本薫・藤井明広 2024. 植物学者牧野富太郎博士からの手紙. 横須賀市博研報 (人文), (68): 33-63. (6年3月)
- 原田保子・瀬川渉 2024. 昭和期における横須賀市長坂の農耕について—高橋豊家氏の語りから—. 横須賀市博研報 (人文), (68): 25-32. (6年3月)
- 藤井明広 2024. 寛政期における旗本仁賀保両家の関係性. 雄波郷, (18): 1-22. (6年3月)

## ウ その他執筆

- 萩原清司 2023. 季節の生き物図鑑「ペリー提督と魚介類の意外な関係」. よこすか ECO 通信, (49): 3. 横須賀市, 環境教育・環境学習推進懇話会. (6月)
- 柴田健一郎 2023. 関東大震災から 100 年. よこすか ECO 通信, (50): 3. 横須賀市, 環境教育・環境学習推進懇話会. (9月)
- 山本薫 2023. 冬の自然素材でクラフト. よこすか ECO 通信, (51): 3. 横須賀市, 環境教育・環境学習推進懇話会. (12月)
- 山本薫 2023. 行ってみよう科学探検 横須賀市自然・人文博物館 三浦半島の自然を知る・楽しむ・探求する. 理科教室, 66 (12): 80-81. (12月)
- 柴田健一郎 2024. 最初のナウマンゾウ化石は横須賀から!. 全科協ニュース, 5 (2): 16. (6年3月)
- 内船俊樹 2024. 春の花を訪れる昆虫たち. よこすか ECO 通信, (52): 3. 横須賀市, 環境教育・環境学習推進懇話会. (6年3月)

## (3) 学術研究団体・会議等協力

- 日本分類学会連合, 日本魚類学会代表. 日本魚類学会, 年間. (担当: 萩原)
- 相模湾海洋生物研究会, 運営委員, 年間. (担当: 萩原)
- 神奈川地学会, 幹事, 年間. (担当: 柴田)
- 日本節足動物発生学会, 編集幹事, 年間. (担当: 内船)
- 相模民俗学会, 運営委員, 年間. (担当: 瀬川)
- 日本民俗学会, 第75回年会実行委員, 4月~6年2月. (担当: 瀬川)

8 分類整理保存事業

(1) 資料の寄贈・借用

ア 寄贈資料

- ウミガメ標本 1件 野村一雄 動物
- ノコギリエイ上顎標本 1件 塚本薫 動物
- タイマイ剥製 1件 吉田正光 動物
- オオフウチョウ 剥製 2件 吉田正光 動物
- ダチョウ卵殻標本 一式 内山忠雄 動物
- 貝類資料 一式 内山忠雄 動物

イ 借用資料

- 高知県立牧野植物園 画像3点 5年2月1日～7月22日 (植物)
- 東京都立大学牧野標本館 画像10点, 標本6点 5年2月1日～7月22日 (植物)
- 東京都立大学牧野標本館 標本3点 7月22日～6年3月30日 (植物)

(2) 登録資料 (括弧内は新規登録資料)

ア 自然科学資料

- 地球科学 6,519件 (213件)
  - 古生物資料 3,113件 (204件)
  - 岩石資料 943件 (8件)
  - 鉱物資料 327件 (1件)
  - 地質調査報告書 2,136件 (0件)
- 動物 95,926件 (230件)
  - 昆虫類資料 36,415件 (0件)

- 甲殻類資料 1,071件 (0件)
- 軟体動物資料 9,860件 (0件)
- 魚類資料 46,586件 (217件)
- 両生爬虫類資料 600件 (13件)
- 鳥類資料 984件 (0件)
- 哺乳類資料 410件 (0件)
- 植物 79,422件 (63件)
  - 維管束植物 71,731件 (63件)
  - 藻類 4,676件 (0件)
  - 蘚苔類 58件 (0件)
  - 菌類 2,963件 (0件)

イ 人文科学資料

- 考古 84件 (0件)
- 歴史 413件 (0件)
- 登録銃砲刀剣類 18件 (0件)
- 民俗 744件 (0件)

ウ 図書資料

- 自然科学 100,606件 (363件)
- 人文科学 70,698件 (506件)

(4) 資料の保守・保存環境保全

ア 文化財害虫と空中浮遊菌類のくん蒸および調査

○燻蒸消毒

文化財収蔵庫・第3資料室・第1民俗資料室・第1歴史資料室・人文館地下倉庫において殺菌・殺虫効果のあ

(3) 資料の利用

資料名	利用形態 (用途)	利用日 / 期間	利用者 (所属)	部門
地質調査報告書	貸出	4月27日	横須賀市上下水道局技術部下水道管渠課	地球科学
満願寺瓦	閲覧	5月4日	満願寺瓦研究会	考古
間口A 洞穴出土動物遺体	貸出・掲載	5月9日～6年1月6日	佐藤孝雄 (慶応義塾大学)	考古
ペリー画像	貸出	5月21日	浦賀歴史研究所	歴史
かろうと山古墳・高原北遺跡・鴨居上の台遺跡出土資料	閲覧	5月24日	岩井顕彦 (たつの市教育委員会)	考古
鶴岡八幡宮, 荏柄天神社採集の瓦	閲覧	5月26日	浜中邦弘 (同志社大学)	考古
産婆会旗	貸出	5月31日～6月7日	横須賀市助産師会	民俗
イシドジョウ標本	貸出	5月31日	徳島県立博物館	海洋生物
ペリー上陸関係資料画像	貸出	6月3日	浦賀歴史研究所	歴史
宗元寺瓦	閲覧	6月21日	高橋香 (神奈川県考古学財団)	考古
内原遺跡・住吉遺跡・長沢1号墳, かろうと山古墳, 天神横穴墓出土資料	閲覧	7月6日	斎藤あや (大田区立郷土博物館)	考古
乗越瓦窯跡出土須恵器	閲覧	8月24日	高橋香 (神奈川県考古学財団), 田尾誠敏 (東海大学)	考古
地質調査報告書	貸出	9月5日	横須賀市上下水道局技術部下水道管渠課	地球科学

地質調査報告書	貸出	9月6日	横須賀市上下水道局技術部下水道管渠課	地球科学
軽石資料	貸出	9月14日	神奈川県立横須賀高等学校	地球科学
コマッコウ頭骨標本	貸出	9月29日	観音崎自然博物館	海洋生物
蓼原古墳出土弾琴埴輪	閲覧	10月24日	渡邊浩貴（神奈川県立歴史博物館）	考古
ペリー画像	貸出	10月25日	浦賀歴史研究所	歴史
ニホンノウサギ, ニホンザル, カワラバト, ニホンマムシ全身骨格およびドバト剥製標本	貸出	10月28日	横浜市立立野小学校	海洋生物
関東大震災パネル	貸出	11月2日	横須賀市市長室危機管理課	地球科学
スズキ, クロダイレプリカ	貸出	11月14日	横須賀市地域水質保全協議会	海洋生物
乗越瓦窯址・上吉井南遺跡・蓼原遺跡・佐原泉遺跡出土資料	貸出	11月22日～6年3月29日	神奈川県教育委員会	考古
地質調査報告書	貸出	12月1日	横須賀市上下水道局技術部下水道管渠課	地球科学
タカサゴイシモチ属標本 43点	貸出	12月10日	小枝圭太（琉球大学理学部）	海洋生物
コガシラエビス標本	貸出	6年1月13日	吉田朋弘（公財・海洋生物環境研究所）	海洋生物
満願寺遺跡出土瓦	閲覧	6年2月2日	桐山秀穂	考古
白垂紀オウムガイ化石	閲覧	6年3月26日	松川正樹（東京学芸大学）	地球科学

計 27 件

る燻蒸剤「アルプ」を使用した燻蒸をおこなった。調査研究室・大型資料室・展示室の一部においてピレスロイド系殺虫剤の空中噴霧による燻蒸を行った。いずれも効果判定材料である供試虫の致死率 100%が認められた。6月24日～7月2日（担当：瀬川・山本）

#### ○調査

文化財収蔵庫・第3資料室・調査研究室・大型資料室・第1, 第2民俗資料室・第1, 第2歴史資料室・人文資料室・恒温恒湿室・資料整理室・考古資料室・視聴覚資料室・自然研究室・図書室・特別展示室・特別展示準備室・人文館展示室・自然館展示室において、インセクトトラップ・フェロモントラップを設置し、歩行性昆虫類やタバコシバンムシなどの文化財害虫の生息状況を調査した。各所でチャタテムシ類が捕獲され、一部では歩行性昆虫類も捕獲された。シバンムシ類の捕獲はほぼなかった。捕獲数が多い個所には、樹脂蒸散性防殺虫剤を設置した。7月2日～8月4日（担当：瀬川・山本）

#### イ 国指定重要文化財スチームハンマーの保存環境測定

ヴェルニー記念館で保存・管理する国指定重要文化財スチームハンマーについて、その保存に影響する因子の

特定及び今後の維持管理方法の検討データの収集のため、空気環境データを年2回測定した。

#### 1) 測定場所

ヴェルニー記念館（東逸見町 1-1）の室内外の計2地点。

#### 2) 測定項目および方法

①濾過捕集による「浮遊粒子状物質 (SPM)」の重量濃度測定。

②ザルツマン吸光光度法による「二酸化窒素」の濃度測定。

③濾過捕集による「粒子状酸性成分」濃度のイオンクロマト分析。

以上の3項目で、①, ②は日中時間内の1時間値を1回、③は日中時間内の6時間値を1回測定した。

#### 3) 測定結果

測定結果は次の表のとおり。アルデヒドにおける不検出値は、「ホルムアルデヒド 8 以下、アセトアルデヒド 5 以下」で、粒子状酸性成分における不検出値は、「塩化物イオン 0.069 以下、その他 0.17 以下」とした。気象条件等も併せて記録した。

表 令和5年度測定結果一覧

	8月10日		12月7日		
	室内	室外	室内	室外	
天候	---	晴	---	晴	
気温(℃)	27	31	18	17	
湿度(%)	60	65	46	48	
風向	---	南東	---	北西	
風速(m/s)	---	0.25 - 1.5	---	0.55 - 4.5	
浮遊粒子状物質(mg/m <sup>3</sup> )	0.002	0.004	0.001	0.004	
ホルムアルデヒド(ppb)	不検出	不検出	不検出	不検出	
アセトアルデヒド(ppb)	不検出	不検出	不検出	不検出	
酸性成分	塩化物イオン(μg/m <sup>3</sup> )	19	47	20	
	亜硝酸イオン(μg/m <sup>3</sup> )	不検出	不検出	不検出	
	硝酸イオン(μg/m <sup>3</sup> )	3.9	9.4	6.4	12
	硫酸イオン(μg/m <sup>3</sup> )	52	89	47	120

9 管理事業

(1) 施設利用

ア 団体による見学等利用

(ア) 学校教育関係

日付	学校・学年等	施設
4月18日	横須賀市立田戸小学校	本館
4月21日	横須賀市立小原台小学校	馬堀
4月28日	横須賀市立望洋小学校	本館・ヴェルニー
4月29日	恵泉女学園中学・高等学校	天神島
4月29日	神奈川大学	本館
5月11日	横須賀市立明浜小学校	本館
5月16日	横須賀市立神明中学校	本館
5月16日	横須賀市立浦賀小学校	本館
5月19日	横須賀市立公郷小学校	本館
5月23日	横須賀市立常葉中学校	ヴェルニー
5月24日	横須賀市立養護学校	本館
5月30日	横須賀市立馬堀小学校	馬堀
5月31日	横須賀市立豊島小学校	本館
6月1日	田園調布雙葉小学校	本館
6月4日	神奈川県立生田高等学校	天神島
6月6日	横浜市立鴨居中学校	本館
6月7日	横須賀市立養護学校	本館
6月7日	シモゾノ学園国際動物専門学校	天神島
6月16日	横須賀市立根岸小学校	ヴェルニー
6月16日	横須賀市立野比小学校	本館
6月18日	聖徳学園中学高等学校	天神島
7月5日	シモゾノ学園国際動物専門学校	天神島
7月13日	横須賀市立走水小学校	本館
7月14日	横須賀市立沢山小学校	本館
7月14日	横須賀市立馬堀小学校	馬堀
7月20日	横須賀市立粟田小学校	本館
7月25日	立正大学	本館
8月15日	立正大学	本館
9月1日	横須賀市立田戸小学校	本館
9月20日	横須賀市立衣笠小学校	本館
9月26日	三浦市立初声小学校	本館
9月26日	横須賀市立根岸小学校	天神島

10月5日	横須賀市立衣笠小学校	本館
10月17日	広島県立音戸高等学校	ヴェルニー
10月19日	フェリス女学院中学校	天神島
10月20日	フェリス女学院中学校	本館
10月20日	横須賀市立常葉中学校	ヴェルニー
10月28日	神奈川大学	天神島
11月1日	湘南芽吹高等学院	本館
11月1日, 2日	陸上自衛隊通信学校	本館
11月2日	成美学園高等学校	本館
11月4日	神奈川大学	本館
11月8日	横須賀市立鴨居小学校	本館
11月12日	神奈川大学	天神島
11月14日	横須賀市立武山小学校	本館
11月17日	横須賀市立船越小学校	本館
11月17日	横須賀市立粟田小学校	本館
11月17日	横須賀市立岩戸小学校	本館
11月17日	横須賀市立鷹取小学校	本館
11月18日	東海大学	本館
11月21日	横須賀市立豊島小学校	本館
11月21日	横須賀市大矢部小学校	本館
11月21日	横須賀市大津中学校	本館
11月21日	横須賀市立田浦中学校	本館
11月22日	横須賀市立長井小学校	本館
11月28日	横須賀市立大津小学校	天神島
11月30日	横須賀市立野比小学校	本館
12月5日, 6日	横須賀市立馬堀小学校	馬堀
12月7日	横須賀市立大津中学校	ヴェルニー
12月19日	横須賀市立豊島小学校	本館
6年2月1日	横須賀市立豊島小学校	本館
6年2月9日	横須賀市立池上小学校	本館
6年2月14日	横須賀市立小原台小学校	本館
6年2月20日	横須賀市立夏島小学校	本館
6年2月22日	横須賀市立根岸小学校	本館
6年2月23日	東京都立六本木高等学校	天神島
6年2月27日	横須賀市立逸見小学校	本館
6年2月28日	横須賀市立鴨居小学校	本館
6年2月28日	横須賀市立神明小学校	本館
6年2月29日	横須賀市立田戸小学校	本館
6年2月29日	横須賀市立豊島小学校	本館
6年3月1日	横須賀市立桜小学校	本館
6年3月5日	横須賀市立久里浜小学校	本館
6年3月8日	慶應義塾湘南藤沢高等部	本館
6年3月12日	横須賀市立長浦小学校	本館

計 75 件, 77 回

(イ) 学校教育以外

日付	団体名	施設
4月8日	NPO 法人横浜金沢シティガイド協会	ヴェルニー
4月8日, 9日, 22日	早稲田こどもフィールドサイエンス教室	天神島
4月9日	広尾地学研究会	本館
4月23日	湘南海援隊	本館
4月26日	うさぎ保育園	本館
5月5日, 6日, 7日, 20日, 21日	早稲田こどもフィールドサイエンス教室	天神島

5月9日, 10日, 12日, 19日	陸上自衛隊通信学校	本館
5月18日	三浦半島活断層調査会	本館
5月24日	しんわピノキオ保育ランド	天神島
5月24日	若宮会	本館
5月26日	社会福祉法人成竹会 大楠愛児園	天神島
6月4日, 17日, 18日	早稲田こどもフィールドサイエンス教室	天神島
6月9日	つれづれ会	本館
6月16日	陶芸の会	本館
6月16日	YBS にじのそら保育園	本館
6月21日	相模原市立博物館市民学芸員	本館
6月23日	陸上自衛隊通信学校	本館
6月25日	いいだばし幼児教室	天神島
7月1日	横須賀古地図くらぶ	本館
7月1日, 16日	早稲田こどもフィールドサイエンス教室	天神島
7月2日	ボーイスカウト横須賀第15団ビーバー隊	馬堀
7月5日	まぼりっ子クラブ	馬堀
7月6日	社会福祉法人ル・プリ 杜ちやいど園	天神島
7月7日	陸上自衛隊通信学校	本館
7月12日	おいらく山岳会	馬堀
7月16日	鎌倉植物観察会・かまくらぶ	天神島
7月19日	横須賀上町教会附属めぐみ幼稚園	天神島
7月20日	三浦半島活断層調査会	本館
7月26日	Nキッズアカデミー横須賀校	本館
7月26日	株式会社はるか	ヴェルニー
7月29日	公益財団法人地球環境戦略研究機関 国際生態学センター	天神島
8月3日	浦郷ふじ学童クラブ2	本館
8月6日	広尾地学研究会	本館
8月8日	船越学童保育の会	馬堀
8月8日	放課後学童クラブ FuReRu	本館
8月8日	学童保育所 竹の子クラブ	本館
8月8日	コアラ保育園	本館
8月8日	六浦子供ホーム	本館
8月9日	横須賀学院小学校 YMCA キッズスクエア	本館
8月9日	葉山にここご保育園	本館
8月17日	坂本学童クラブ	馬堀
8月18日	放課後等デイサービス エジソンスクエア磯子	本館
8月23日	陸上自衛隊通信学校	本館
9月10日	株式会社 OSOTO	天神島
9月18日	スタジオみらい逗子田浦	天神島
9月20日, 22日	陸上自衛隊通信学校	本館
9月21日	三浦半島活断層調査会	本館
10月11日	弥次喜多会	ヴェルニー
10月12日	自由学園リビングアカデミー	天神島
10月13日	小平郷土研究会	本館
10月21日	高度技術者育成と技能伝承研究会	本館
11月2日	プレップサポートセンター金沢文庫	本館

11月4日	横須賀市立追浜保育園	本館
11月3日	放課後等デイサービス toiro 大津	本館
11月8日	YBS エレメンタリー	馬堀
11月10日	大津幼稚園	本館
11月10日	JOYS 日本外ヨガ学会	天神島
11月15日	横須賀市立児童相談所	本館
11月16日, 23日	三浦半島活断層調査会	本館
11月19日	麻布科学実験教室	本館
11月21日	横須賀市立船越保育園	本館
11月22日	横須賀市立森崎保育園	本館
11月25日, 26日	早稲田こどもフィールドサイエンス教室	天神島
12月5日, 9日	神奈川県立歴史博物館ボランティア会	本館
12月17日	おいらく山岳会	馬堀
12月21日	桜が丘東咲団地	馬堀
12月26日	ワークス・コレクティブ・ティンクル おおぐすがくどう	本館
12月26日	浦郷ふじ学童クラブ	本館
6年1月14日	JOYS 日本外ヨガ学会	天神島
6年1月18日	三浦半島活断層調査会	本館
6年1月19日	横須賀市立田浦保育園	本館
6年1月20日	ハートリンク放課後等デイサービス富岡東	本館
6年1月20日	放課後等デイサービス エミタスアフタースクール	本館
6年1月21日	相模民俗学会	本館
6年1月26日	横須賀市鴨居保育園	本館
6年1月26日	陸上自衛隊通信学校	本館
6年1月26日	ゆうゆう坂本相談教室	本館
6年2月22日	ゆうゆう坂本相談教室	本館
6年2月29日	横須賀若葉幼稚園	本館
6年3月1日	かぐのみ幼稚園	本館
6年3月8日	横須賀幼稚園	本館
6年3月12日	YBS にじのそら保育園	本館
6年3月16日	JOYS 日本外ヨガ学会	天神島
6年3月26日, 29日	陸上自衛隊通信学校	本館

計 83 件, 100 回

イ 調査・研究等利用

日付	団体名	施設
年間	横須賀植物会	本館
年間	神奈川県植物誌調査会	本館
年間	三浦半島昆虫研究会	本館
4月14日, 6月9日, 7月14日, 9月8日, 10月13日,	好古会	本館
4月27日	東京海洋大学藻類学研究室 大学院生 1人	天神島
5月23日	神奈川県立横須賀高等学校 2学年 (プリンキピアII)	天神島
6月10日, 6月17日, 8月5日, 10月28日, 12月16日, 4年3月3日	神奈川県立横須賀高等学校 1学年 (プリンキピアI)	本館

9月1日	東京農業大学 教員2人, 大学院生1人	本館
11月14日	相模湾海洋生物研究会	本館

計9件

**(2) 開館園日数・入館園者数**

月	本館		馬堀自然教育園		天神島臨海自然教育園		ヴェルニー記念館		合計 入館園者数
	日数	入館者	日数	入園者	日数	入園者	日数	入館者	
4	26	6,071	26	259	26	4,501	26	6,793	17,624
5	26	7,684	26	268	26	4,938	26	12,816	25,706
6	22	5,960	26	292	26	3,242	26	6,494	15,988
7	26	4,868	26	263	26	4,898	26	5,235	15,264
8	27	7,036	27	194	27	4,701	27	6,001	17,932
9	26	5,142	25	116	25	3,442	26	5,456	14,156
10	26	5,263	26	98	26	3,220	26	7,788	16,369
11	26	5,387	26	172	26	2,473	26	6,578	14,610
12	24	4,250	24	143	24	1,377	24	4,486	10,256
1	24	6,155	24	94	24	1,707	10	2,325	10,281
2	25	4,979	25	98	25	1,839	0	0	6,916
3	27	5,805	27	176	27	2,881	27	8,107	16,969
計	305	68,600	308	2,173	308	39,219	270	72,079	182,071

※臨時休館園

本館

6月26日～30日：館内収蔵資料の燻蒸作業のため

馬堀自然教育園

9月8日：台風による荒天のため

天神島臨海自然教育園

9月8日：台風による荒天のため

ヴェルニー記念館

6年1月15日～2月29日：空調設備更新工事のため

**(3) 人事**

○4月1日 転入 北山 剛（文化スポーツ観光部企画課から）

○4月1日 転入 小尻 玲（教育総務部学校管理課から）

○4月1日 転入 亀井泰治（教育総務部生涯学習課から）

○6年3月31日 転出 小尻 玲（横須賀総合高等学校へ）

**(4) 決算**

費目	決算額(円)
資料収集調査研究費	1,194,730
資料分類整理保存費	9,349,367
展示教育普及費	8,773,344
営繕工事費	37,854,300
博物館本館費	59,600,574
自然教育園費	25,654,669
ヴェルニー記念館費	9,346,848
計	151,773,832

**(5) 営繕工事**

ア 人文館エレベーター改修工事

地震感知管制運転装置などの耐震的機能を強化した。

イ 天神島ビジターセンター建具改修工事

天神島ビジターセンター3階のアルミ建具の改修工事を行った。

**(6) 消防訓練・避難訓練**

ア 本館

6年1月25日に文化財防火デーにあわせ消防訓練を行った。

イ 天神島臨海自然教育園

6月30日に東南海地震による津波の発生を想定した避難訓練を実施した。

**(7) ホームページ・メールマガジン・SNS****ア ホームページ**

博物館ホームページを24回更新した。閲覧数（セッション数）は91,251回（9月26日～6年3月31日、4月1日～9月25日は不具合によりデータなし）。（担当：柴田）

**イ メールマガジン**

メールマガジンを11回配信した。メールマガジンの登録数908人、配信数628人（6年3月31日）。各メールマガジンには「学芸員自然と歴史のたより」を掲載した。タイトルと執筆者は以下のとおり。（担当：柴田）

5月2日号 夏鳥・旅鳥の観察 萩原

6月2日号 様々な災いへの対応 瀬川

7月2日号 熱帯の魚類の耳石化石 柴田

10月8日号 横須賀ゆかりの植物たち—その名に刻まれた日仏交流の記憶 菊地

12月2日号 安政江戸地震と横須賀 藤井

12月28日号 海の青い龍・アオミノウミウシ 萩原

6年1月31日号 職人と職工 瀬川

12月14日、小田原市生涯学習センターけやき。（参加：瀬川）

○令和5年度オンライン学芸員専門研修 6年2月5日、6日、オンライン。主催：国立科学博物館・全国科学博物館協議会（参加：柴田）

○日本博物館協会第1回研究協議会，参加。6年2月23日，兵庫県立人と自然の博物館。（参加：山本）

○神奈川県博物館協会令和5年度第5回研修会，参加。6年3月9日，横浜市歴史博物館。（参加：瀬川）

**ウ ツイッター**

409件投稿した。フォロワー数2,343人（6年3月31日）（担当：峯山）

**エ インスタグラム**

297件投稿した。フォロワー数577人（6年3月31日）（担当：峯山）

**オ 横須賀市博ムービーチャンネル (YouTube)**

動画投稿サイト YouTube を活用し，三浦半島の自然や歴史，展示解説などの動画を紹介した。動画40件，視聴回数合計10,748回，総再生時間258.3時間（令和5年度）。（担当：柴田）

**(8) 講習会等の参加**

○神奈川県博物館協会令和5年度第1回研修会，参加。5月10日，神奈川県立歴史博物館。（参加：北山・瀬川）

○神奈川県博物館協会令和5年度第2回研修会，参加。6月21日，茅ヶ崎市博物館。（参加：北山・瀬川）

○神奈川県博物館協会令和5年度第3回研修会，参加。10月3日，相模原市立博物館。（参加：瀬川）

○神奈川県博物館協会令和5年度第4回研修会，参加。

## 職員名簿（令和5年度）

館長 古谷 久乃  
課長 北山 剛

### （管理運営係）

係長 小尻 玲  
主任 横山 靖志  
主任 峯山 美城  
担当者 亀井 泰治

### （人文部門）

学芸員・主査 菊地 勝広（建築史学）  
学芸員 瀬川 涉（民俗学）  
学芸員 藤井 明広（文献史学）

### （自然部門）

学芸員・主査 萩原 清司（海洋生物学）  
学芸員・主任 柴田 健一郎（地球科学）  
学芸員・主任 内船 俊樹（昆虫学）  
学芸員・主任 山本 薫（植物学）

### （天神島臨海自然教育園）

会計年度任用職員 中村 薫  
会計年度任用職員 小長谷 美沙

### 《表紙写真解説》

#### 「山海見立相撲 相模浦賀」

「山海見立相撲 浦賀」は、絵師・歌川広重（1797-1858）晩年の作品。江戸時代の浦賀湊が描かれている。手前の陸地が東浦賀村（現・横須賀市東浦賀）であり、その対岸が西浦賀村（現・同市西浦賀）である。中央には湊に出入りする船と燈明堂が描かれている。さらに画面奥、浦賀湊の対岸に描かれているのは房総半島である。なお、当時の西浦賀村には、江戸幕府の出先機関である「浦賀奉行所」が設けられた。「浦賀奉行所」は、浦賀奉行をはじめとした幕府の役人たちが執務をする「浦賀役所」と、江戸に出入りする船の積荷や乗組員の人数などを取り調べる「浦賀番所」によって構成されていた。

編集担当：藤井明広

### 横須賀市博物館報 第71号

2024年9月 発行

編集・発行 横須賀市自然・人文博物館  
〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95  
電話 046-824-3688 Fax. 046-824-3658  
e-mail m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp  
<https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>

